

広報

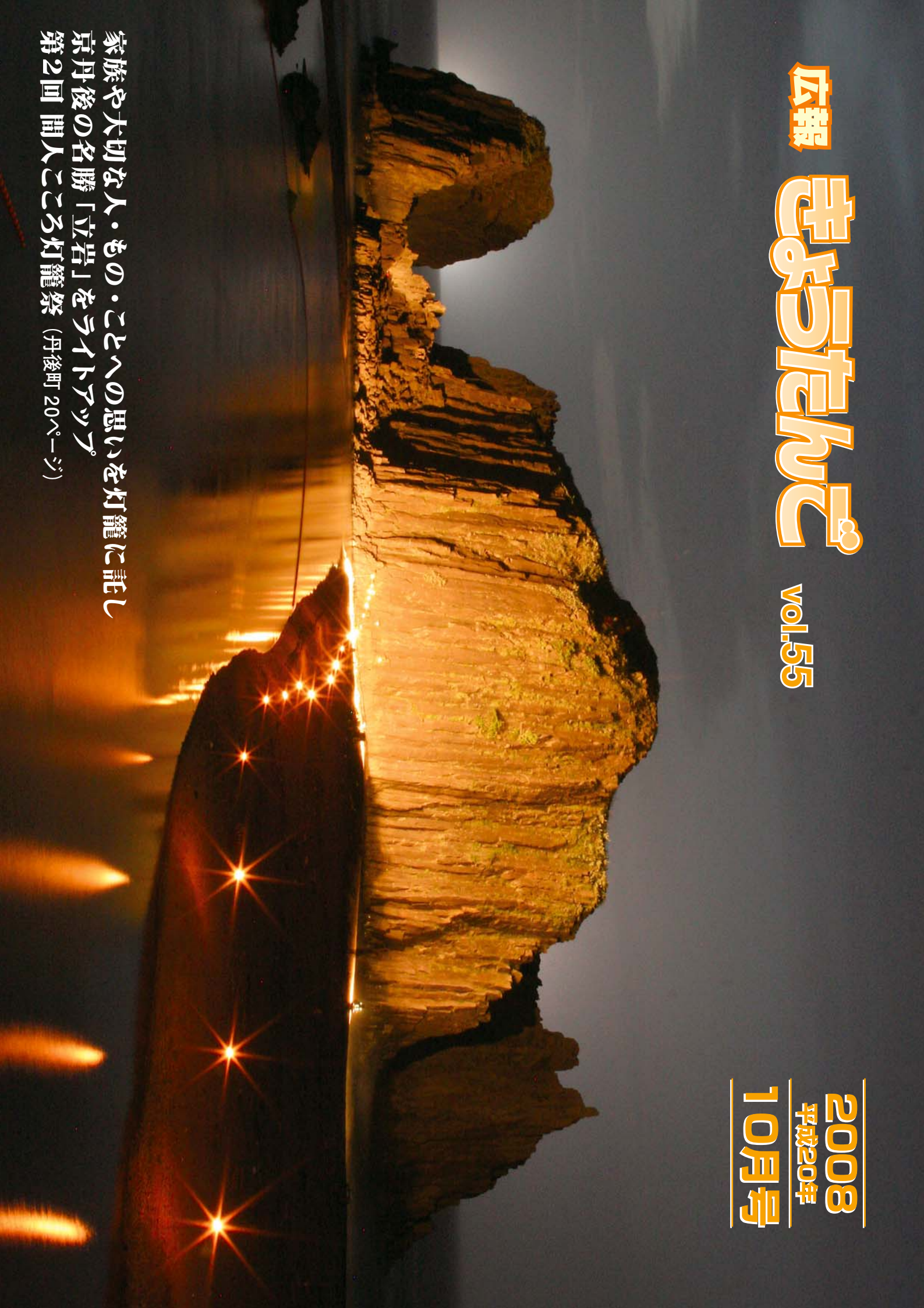
きょうたんて

vol.55

2008
平成20年

10月号

家族や大切な人・もの・ことへの思いを灯籠に託し
京丹後の名勝「立岩」をライトアップ
第2回 間人こころ灯籠祭 (丹後町 20ページ)



観光振興

・「(仮称)京丹後市観光振興条例・観光振興計画検討委員会」設置 … 3

決 算

・平成 19 年度京丹後市決算 …… 4

地域振興

・「過疎・高齢化集落等連絡会」発足 …… 9

6 次産業

・サワラ 食の定着と地産地消への取り組み …… 10

安心・安全

・地域防災を考える機会に 市防災訓練を実施 …… 12

まちづくり

・救マーク認定交付式 …… 13

・Tango Good Goods 112 品目を認定 …… 13

表 彰

・世界大会・全国大会 …… 15

高校グラフィティ

・峰高祭 …… 16

ス ポ ー ツ

・第 4 回京丹後市総合体育大会 …… 18

・第 8 回歴史街道丹後 100km ウルトラマラソン …… 19

地域振興

・ツリーハウス制作ワークショップ …… 20

・第 2 回間人（はしうど）こころ灯籠祭 …… 20

環 境

・森林ボランティア in 京丹後市 …… 21

イベント

・いかり高原まつり …… 22

・パントマイマー …… 22

京都府のひろば

・丹後土木事務所の取り組み …… 23

まちの情報

・飲食業者のみなさんが食のボランティア …… 24

・イベント列車市民号ご案内 …… 24

・ふるさと応援団通信④ …… 25

・京都府丹後文化会館イベント情報 …… 25

健康ひとくちメモ

・介護予防をはじめませんか …… 26

教 育

・学校再配置検討委員会だより …… 28

防 犯

・10 月 11 日は安心安全まちづくりの日 …… 29

市政懇談会

・市政懇談会を開催（網野町・丹後町） …… 30

ご意見箱

・市立図書館 …… 34

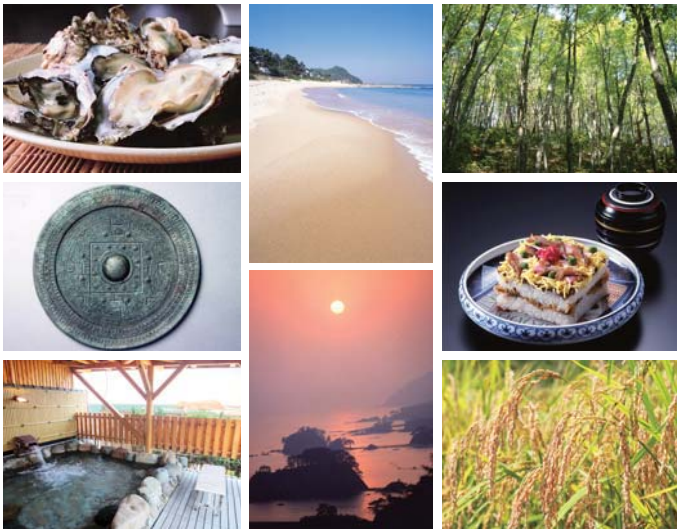
・京丹後市の文化財 …… 35

観光振興条例とは

本市の観光振興を推進していくうえでの基本的な考え方や、市民のみなさん・事業者のみなさん・行政などが果たすべき役割を明確にし、基本的な方策などを述べるものです。

観光振興計画とは

本市の観光資源の再発掘、観光客のニーズ（要求）および実態の把握を行いながら、豊かな自然環境と恵まれた食の活用、生活・産業と密着した体験型観光、四季の魅力づくり、地域ごとの観光地づくりのあり方、外国人観光客の受け入れなど、おおむね 3 年間（平成 21～23 年度）を対象に、具体的な観光施策を策定するものです。



京丹後市は、美しい海岸線や四季の表情豊かな自然、新鮮な魚介類やコメ、果物などの農林水産物、さらに歴史や伝統・文化にあふれた観光資源の豊富なまちです。

本市の豊富な観光資源を生かし、より魅力ある観光地づくりおよび観光関連産業の活性化に向け、八月二十日、観光振興条例や観光振興計画について検討する「(仮称)京丹後市観光振興条例・観光振興計画検討委員会」を設置しました。これにより、総合的・効果的な観光振興の一層の推進に向けた検討を進めていきます。

魅力ある観光地をめざし 「(仮称)京丹後市観光振興条例 ・観光振興計画検討委員会」を設置

これまで本市は、夏季の海水浴や冬季の力二などをはじめ、毎年多くの観光客のかたが訪れ、平成十年には年間観光入り込み客が二百二十万人、年間観光消費額は百三億円に達していました。しかし、近年の少子化や観光ニーズ（要求）の多様化、国内観光地の競争激化、停滞する経済状況などさまざまな要因により、平成十七年には観光入り込み客数が二百万人を下回る状況となっています。

このような中、市では、観光団体・商工団体・旅行業者の代表のかたなど三十三人で構成する「(仮称)京丹後市観光振興条例・観光振興計画検討委員会」を設置。本市の多様な観光資源を活用した、四季型・滞在型・体験型観光などの新たな観光のあり方や市内各地域の実態に応じた観光地づくりのあり方などについて検討し明確にする

とともに、本市の観光の魅力および観光関連産業の活性化に向けて、観光振興条例および観光振興計画の平成二十年度中の策定をめざします。

第一回の委員会では、会則の制定のほか役員を選出。会長に京都嵯峨芸術大学の坂上英彦教授が選出されました。坂上委員長は「観光における市としての方向性を示す観光振興条例や観光振興計画が果たす役割は非常に大きい。策定に当たっては、『地域のかたには当たり前のことでも、観光客にとっては魅力的で価値のあるものは何か』という観光客のニーズを踏まえた視点で、身近な風景や施設をもう一度見直すことも大切」と話されました。



第 1 回検討委員会を開催

地域医療への多大なご尽力に 市から感謝状

谷口 謙さん（大宮町口大野）

谷口謙さんは、昭和二十五年に谷口医院（大宮町口大野）の開設を皮切りに、五十八年の永きにわたり地域医療の充実・発展にご尽力。このたび同医院の閉院にあたり、そのご貢献に感謝の意を込めて、市から感謝状を贈呈いたしました。



谷口 謙さん

学校医として永年にわたり地域住民の健康増進、疾病予防など、地域医療の向上にご尽力されてこられました。また、大宮町学校保健会長、京都府学校保健会理事などを歴任され、医療分野における組織活動の充実・発展にもご貢献されました。

さらに、昭和五十二年からは大宮町国保運営協議会委員、平成八年から平成十二年まで社会福祉法人丹後大宮福祉社会理事長とさまざまな場所でご活躍され、公的医療の推進にご尽力されるとともに、地元企業の産業医としてもご活躍。地域からの信頼が非常に厚く、地域医療を献身的にお支えいただくなどその多大なるご功績・ご尽力に市として感謝の意を込めて、感謝状をお贈りさせていただきました。

一般会計
歳出決算額 300億 1,268万円

【目的別】

その他(議会費など)
5億7,713万円(1.9%)

商工費
9億5,743万円(3.2%)

- ◆**商工費**
商工業・観光の振興・活性化などの経費
- ◆**消防費**
防火、消火、救急、災害対策などの経費
- ◆**農林水産業費**
農林水産業の振興、ば場整備などの経費
- ◆**土木費**
道路や河川、市営住宅などの経費
- ◆**教育費**
小・中学校、公民館事業などの経費
- ◆**衛生費**
医療対策や環境保全などの経費
- ◆**総務費**
徴税・戸籍関係事務、地域振興などの経費
- ◆**公債費**
借入金の返済経費
- ◆**民生費**
社会福祉、児童福祉、生活保護費など

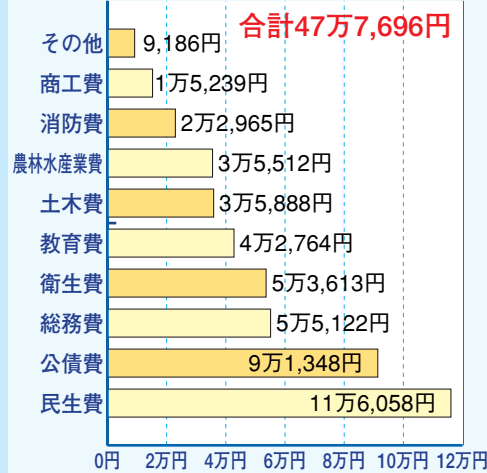
消防費 14億4,283万円(4.8%)
農林水産業費 22億3,114万円(7.4%)
土木費 22億5,477万円(7.5%)
教育費 26億8,677万円(9.0%)
衛生費 33億6,842万円(11.2%)
総務費 34億6,324万円(11.6%)
公債費 57億3,923万円(19.1%)
民生費 72億9,172万円(24.3%)

市民1人あたり

約48万円

※平成20年3月31日現在の人口
62,828人で算出しています。

【内訳】



平成十九年度は、災害復旧事業が大幅に減額となる一方で、活力と魅力あふれるまちづくりを推進するた

一般会計の歳出

め、必要な分野での大型事業も積極的に実施。網野中学校管理棟改築事業、防災行政無線施設整備事業、河辺西部農村振興総合整備事業、丹後保育所・丹後幼稚園整備事業、ブロードバンドネットワーク整備事業などに取り組みました。

【性質別】

その他
10億1,578万円(3.3%)

災害復旧事業費
3億1,665万円(1.1%)

- ◆**繰出金**
特別会計へ支出するもの
- ◆**補助費など**
各種団体への補助金や各地区への交付金など
- ◆**物件費**
賃金、旅費、委託料、光熱水費など
- ◆**普通建設事業費**
道路や学校、公共施設整備などの経費
- ◆**扶助費**
生活保護費や医療給付費など
- ◆**人件費**
市長など3役、市議会議員、各種委員、職員の給与など

繰出金 26億2,096万円(8.7%)	任意的経費 (35.4%)
補助費など 30億9,145万円(10.3%)	
物件費 39億1,639万円(13.1%)	
普通建設事業費 39億2,649万円(13.1%)	経投資的 (14.2%)
扶助費 31億4,294万円(10.5%)	義務的経費 (50.4%)
公債費 57億3,711万円(19.1%)	
人件費 62億4,491万円(20.8%)	

● 任意的経費

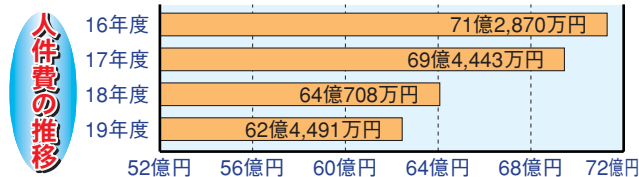
地方自治体が任意に支出することができる経費。義務的経費と異なり、市の意思によって削減できる要素を持つ経費。
平成19年度決算では、106億4,458万円で支出全体に占める割合は35.4%となっています。

● 投資的経費

道路や橋、公園などの社会資本の整備に要するもので、収支効果が長期にわたって持続する経費。
平成19年度決算では、42億4,314万円で支出全体に占める割合は14.2%となっています。

● 義務的経費

必ず支出しなければならない、人件費・扶助費・公債費。義務的経費の歳出全体に占める割合が低いほど、財政構造の弾力性が確保されることとなります。
平成19年度決算では、人件費が62億4,491万円で平成18年度と比較して1億6,217万円の減となっていますが、歳出全体の20.8%を占める最も大きな支出となっています。人件費については、その抑制に努めていく必要があります。



平成19年度 京丹後市 決算

一般会計
実質収支

4億 4,125 万円の黒字

▶ 財政の健全度を表す 4 指標は
すべて適正範囲内

一般会計決算は、歳入(収入) 三百五十二億七千万円、歳出(支出) 三百億千二百六十八万円で、歳入から歳出を差し引くと、四億八千七百五十九万円の黒字となりました。この額に平成二十年度へ繰越した十五事業に充てる四千六百三十四万円を含んでいるため、実質的な収支(差引額)は四億四千二百二十五万円の黒字となります。平成十八年度決算と比較して、歳入で〇・三割の減、歳出で〇・一割の減となりました。

一般会計決算額の概要

年 度	歳入(収入)	歳出(支出)	形式収支	実質収支
H 19年度	305億 27万円	300億1,268万円	4億8,759万円	4億4,125万円
H 18年度	305億8,428万円	300億4,310万円	5億4,118万円	4億1,176万円
増 減 額	△8,401万円	△3,042万円	△5,359万円	2,949万円
増 減 率	△0.3%	△0.1%	△9.9%	7.2%

一般会計
歳入決算額 305億27万円

- ◆**地方交付税**
一定水準の行政サービスを保つための国からの交付金
- ◆**国庫・府支出金**
国・府からの負担金や補助金、委託金
- ◆**市債**
建設事業などを行うための借入金
- ◆**使用料及び手数料**
公共施設の使用料や住民票の発行手数料など
- ◆**分担金及び負担金**
保育所の保育料や老人福祉施設措置費負担金など
- ◆**市税**
市民税・固定資産税など

その他
14億6,712万円(4.7%)

繰越金
5億4,118万円(1.8%)

使用料及び手数料
5億9,058万円(2.0%)

分担金及び負担金
6億4,726万円(2.1%)

地方交付税 122億7,830万円(40.3%)	依存財源比率 (68.7%)
国庫支出金 18億6,861万円(6.1%)	
府支出金 19億7,053万円(6.5%)	
市債 33億7,910万円(11.1%)	
その他 19億606万円(6.2%)	自主財源比率 (31.3%)
市税 58億5,153万円(19.2%)	

● 依存財源

地方交付税、国・府補助金、市債(借入金)など、国などから交付される財源。
平成19年度決算では209億6,366万円と、全体の68.7%を占めており京丹後市の歳入は、国などの施策に大きく影響されることがわかります。
一定水準の行政サービスを保つために国から交付される地方交付税は、122億7,830万円で、歳入全体の40.3%を占めています。国において地方交付税の総額が抑制される中、本市も前年度と比較して4億7,973万円減少しています。
また、市債(借入金)は、後年度負担の軽減のため借入金を抑制し、前年度と比較して5.6%の減としています。

● 自主財源

市税、使用料、分担金など、市が自ら徴収することができる財源。地方自治体の行政活動の自主性と安定性を確保できるかどうかの尺度となるため、できる限りその確保に努める必要があります。
平成19年度決算では95億3,661万円で、昨年度と比較して9億2,642万円の増となっていますが、歳入全体に占める割合は31.3%と依然として低い状態にあります。

財政の健全度を表す指標を公表

健全化判断比率はすべて適正範囲

「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」の成立（平成十九年六月）に伴い、平成十九年度決算から新たな財政指標の公表が義務づけられました。

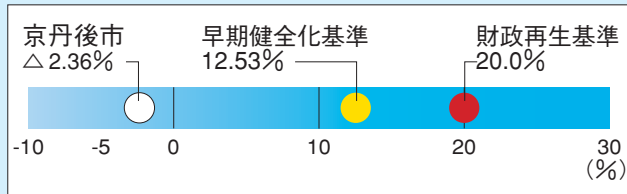
これらの指標は、地方自治体の財政の健全度を表す指標で、市議会に報告するとともに市民のみなさんへ公表することが同法律で義務づけられています。

また、平成二十年度決算からは、これらの指標が、国の基準（早期健全化基準・財政再生基準など）を超えた場合、市は財政健全化を図るための計画を策定することとなります。

本市の場合、健全化判断比率においては、いずれの指標も、早期健全化基準を下回っていますが、一方で病院事業会計においては、資金不足額の比率が国の基準（経営健全化基準）を超えている状態にあります。

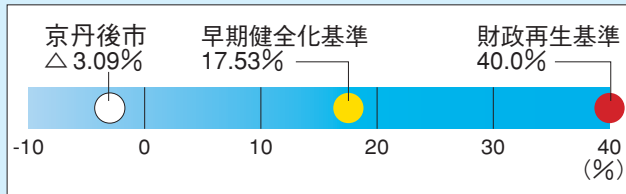
健全化判断比率 実質赤字比率・連結実質赤字比率・実質公債費比率・将来負担比率の4指標からなる、市の財政の健全度を表す比率。

実質赤字比率 → 黒字のため該当なし



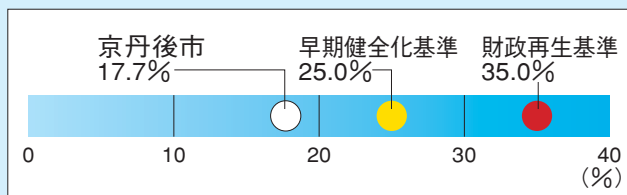
一般会計における赤字の程度を示す比率。数値が大きいかほど財政運営が深刻化していることを表します。
平成 19 年度一般会計決算は黒字のため、実質赤字比率は該当しませんが、数値化すると△ 2.36%となります。

連結実質赤字比率 → 黒字のため該当なし



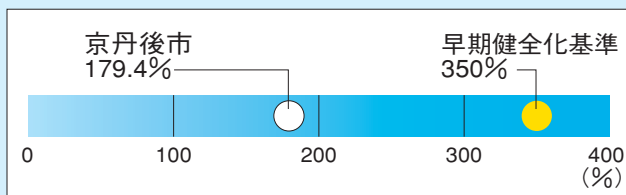
特別会計や企業会計などすべての会計を合算して算出する、市全体の赤字の程度を示す比率。数値が大きいかほど財政運営が深刻化していることを表します。
平成 19 年度の京丹後市連結決算は黒字のため、実質赤字比率は該当しませんが、数値化すると△ 3.09%となります。

実質公債費比率 → 17.7%



一般会計などで負担する市債（借金）の返済に充てる経費の大きさを指標化した比率。数値が大きいかほど、財政負担が大きく、市が自由に使うことのできるお金が少ないことを表します。
平成 19 年度は 17.7%で、早期健全化基準（25.0%）を下回りました。

将来負担比率 → 179.4%

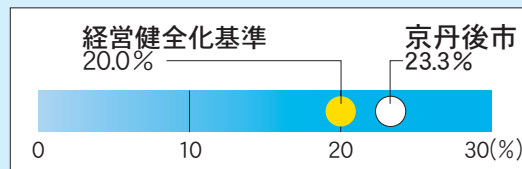


市債の返済など、将来的に支出することが見込まれる経費を指標化した比率。数値が大きいかほど将来、財政を圧迫する可能性が高いことを表します。
平成 19 年度は 179.4%で、早期健全化基準（350%）を下回りました。

資金不足比率

病院事業会計

→ 23.3%



公営企業の事業規模に対する資金不足額の比率。数字が大きいかほど経営が深刻化していることを表します。
平成 19 年度の病院事業では 23.3%で、経営健全化基準（20.0%）を上回りました。そのほかの公営企業では、資金不足はありませんでした。

特別会計・企業会計の決算概要

		収 入	歳 出	収支差引
一般会計		305億27万円	300億1,268万円	4億8,759万円
特別会計	国民健康保険事業	69億7,497万円	68億1,003万円	1億6,494万円
	国民健康保険直営診療所事業	4億3,858万円	4億2,300万円	1,558万円
	老人保健事業	67億7,003万円	68億787万円	△3,784万円
	介護保険事業	43億5,210万円	42億148万円	1億5,062万円
	介護サービス事業	7億238万円	6億6,218万円	4,020万円
	簡易水道事業	15億5,461万円	15億2,281万円	3,180万円
	集落排水事業	7億3,969万円	7億2,732万円	1,237万円
	公共下水道事業	34億3,376万円	32億9,306万円	1億4,070万円
	浄化槽整備事業	7,553万円	6,717万円	836万円
	土地取得事業	915万円	915万円	0万円
	工業用地造成事業	4億3,415万円	4億2,537万円	878万円
	宅地造成事業	7,297万円	1,263万円	6,034万円
	峰山財産区	685万円	9万円	676万円
	五箇財産区	253万円	17万円	236万円
特別会計合計		255億6,730万円	249億6,233万円	6億497万円
企業会計	水道事業	収益的 6億6,421万円 資本的 9億2,007万円	5億7,569万円 12億2,896万円	8,852万円 △3億889万円
	病院事業	収益的 50億1,997万円 資本的 5億8,188万円	54億892万円 5億8,187万円	△3億8,895万円 1万円

特別会計は、特定の収入（保険料や使用料など）により特定の事業を行うため、一般会計と区分して設ける会計です。本市は十四の特別会計を運営しています。

また、企業会計は、地方公

営企業法の適用を受けてその事業収入により経営を行うために設けられている会計です。本市には水道事業会計および病院事業会計があります。

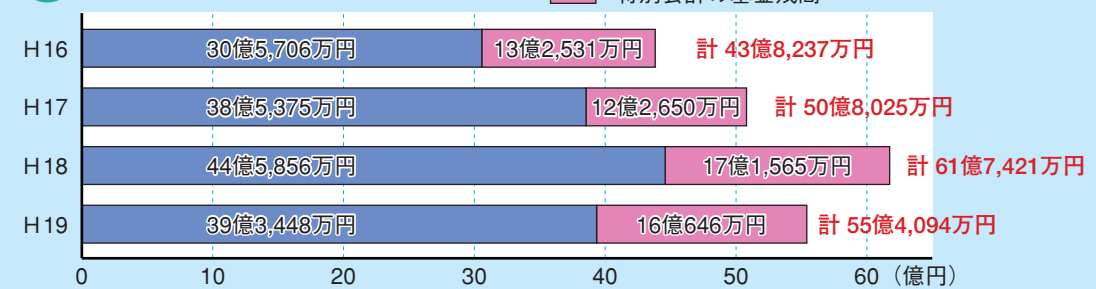
特別会計・企業会計の決算概要

基金残高・市債残高の推移 → 市債残高は4年連続減少

全会計の市債（借金）残高は、平成18年度末で790億1,778万円でしたが、新たな市債の借り入れ抑制に努め、平成19年度末には787億7,471万円に減少しました。
また全会計の基金（貯金）残高は、平成18年度末で61億7,421万円でしたが、蒲井・旭地域振興基金4億7,000万円、

財政調整基金1億4,000万円などの取り崩しにより、平成19年度は6億3,327万円減少し、55億4,094万円となりました。（蒲井・旭地域振興基金の取り崩しを除いた実質的な基金の減少額は、1億6,327万円です）

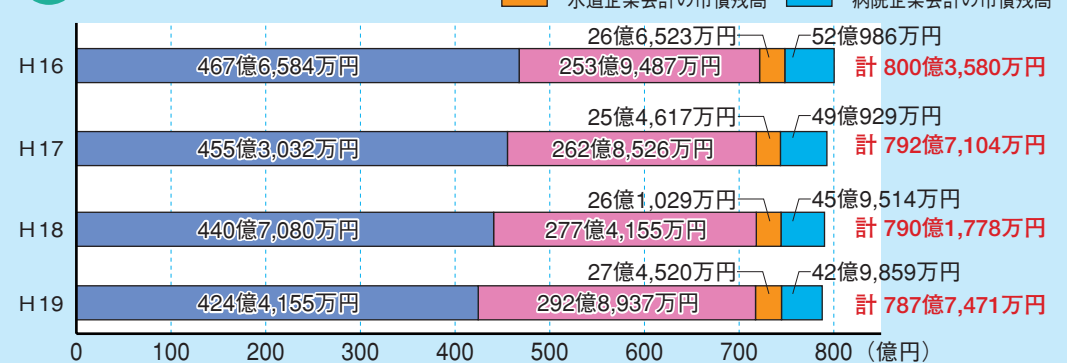
基金（貯金）残高の推移



平成19年度末の基金残高
市民1人あたり

約8.8万円

市債（借金）残高の推移



平成19年度末の市債残高
市民1人あたり

約125.4万円



連絡会の規約と役員を決めた発足会

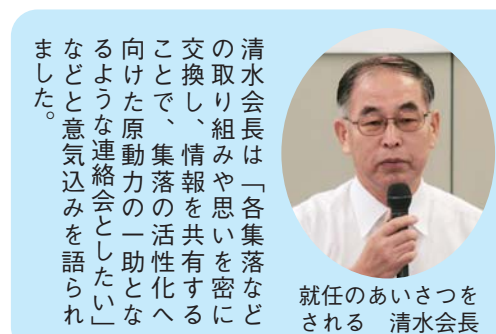
京丹後市では、過疎化や少子高齢化などにより社会的共同生活の維持が困難となる集落が増加しており、それぞれの地域資源を活かした産業振興や交流人口の増大、さらに

京丹後市では、過疎化や少子高齢化などにより社会的共同生活の維持が困難となる集落が増加しており、それぞれの地域資源を活かした産業振興や交流人口の増大、さらに

は定住促進などによって地域の活性化を図ることが課題となっています。

過疎・高齢化に直面している集落の再生や活性化などに取り組むための、きつかけづくりおよび課題解決を図ることを目的に、市内の四十集落などや体験交流型公共施設および市で構成する「京丹後市過疎・高齢化集落等連絡会」を発足しました。

集落の再生・活性化に向け 情報や意識を共有 市内40集落などで構成 「過疎・高齢化集落等 連絡会」設立



就任のあいさつをされる清水会長

清水会長は「各集落などの取り組みや思いを密に交換し、情報を共有することで、集落の活性化へ向けた原動力の一助となるような連絡会としたい」などと意気込みを語られました。

落などと過疎・高齢化集落に隣接する五つの体験交流型公共施設および市で構成しています。

同会議では、総務省の地域力創造アドバイザーとして本市に招へいしている石川県羽咋（はくい）市産業観光課一・五次産業振興室高野誠鮮総括主幹による、同市神子原（みこはら）地区での先進事例を紹介する講演会を開催しました。



講演をされる高野さん

羽咋市神子原では、空き農家・農地情報バンク制度や米のブランド化による農家所得の増加、都市部の住民との交流促進など先進的な取り組みが行われています。

地域活性化の 先進事例を学ぶ

総務省地域力創造アドバイザー
高野誠鮮（じょうせん）さんが
石川県羽咋市の事例を紹介

のかたが気づいていないさまざまな魅力が京丹後にはある」と指摘。高野さんが信条とされている「計画作成や会議を何回開催しても、それだけでは地域は何も変わらない。必要なのは、理念に基づいて行動すること。自分がやらなくてもだれかがやってくれるだろうと手をこまねいていては、何も変化しない。きちっとした考え方に基いて戦略を作り、実践することが大切」と行政も地域も行動することの重要性を話されました。

平成19年度の市の予算は このようなことに使われました

平成19年度に実施した主な事業や特徴的な事業を目的別の分類によりご紹介します。

商工費

○丹後ファッションウィーク開催委員会補助金	1,140万円
○織物業経営革新等推進事業補助金	800万円
○「北部産業活性化拠点・京丹後」施設（日本電産旧峰山工場）改修負担金	998万円
○観光の魅力づくり推進事業	4,655万円
○京丹後チャレンジショップ運営事業補助金	1,600万円

土木費

○市道の改良事業	6億7,950万円
○除雪力向上のための除雪機械購入経費	2,883万円
○急傾斜地崩壊対策事業	2,738万円
○網野地域内水面処理対策事業	1,276万円
○網野町浅茂川地域での八丁浜シーサイドパーク整備事業	6,685万円
○街なみ環境整備事業	6,856万円
○市営住宅松岡岡地建替整備事業	3,342万円
○アメニティー久美浜整備事業	1,813万円

消防費

○消防施設等整備事業	1,962万円
○防火水槽整備事業	2,964万円
○防災行政無線施設整備事業	3億1,586万円
○京都府防災訓練事業	146万円

教育費

○学校情報化推進事業	4,766万円
○学校再配置検討事業	146万円
○峰山・高龍中学校耐震診断調査	1,176万円
○網野中学校管理棟改築事業	4億8,024万円
○図書館システム統合事業	2,098万円
○市史編さん事業	1,123万円

災害復旧費

○平成 18 年 7 月豪雨災害復旧事業	3億216万円
----------------------	---------

公債費

○高金利の市債の借り換えや繰上償還	3億9,540万円
○住民参加型市場公募債「京丹後、まち、未来債」発行経費	212万円

総務費

○市民協働のまちづくり事業補助金	1,787万円
○ブロードバンドネットワークの整備（光ファイバ網の布設）	1億992万円
○地域情報交流モデル構築事業	5,790万円
○蒲井・旭地域振興交付金	4億円
○奥大野地区公民館建設事業補助金	3,910万円
○低額運賃（200 円）バスの実証運行事業などへの補助金	9,568万円

民生費

○障害者自立支援法関係の障害福祉サービス	7億2,731万円
○地域生活支援事業（相談支援など）	1億1,681万円
○子育て支援として実施している子ども医療事業	1億3,200万円
○放課後児童クラブの運営	4,485万円
○丹後保育所・丹後幼稚園の整備	9,176万円
○宇川統合保育所の測量調査	149万円

衛生費

○自殺予防対策	193万円
○医療確保奨学金等貸付金	300万円
○医療改革改善推進会議関係経費および市立病院経営改善専門委員経費	145万円
○弥栄病院、久美浜病院への繰出金	7億2,580万円
○環境基本計画策定事業	686万円
○上水道事業一般会計出資金	2億9,960万円
○峰山クリーンセンターの改修	1億4,564万円

農林水産業費

○京丹後製茶株式会社設立出資金	1,500万円
○ブランド農産物育成支援事業	1,477万円
○農村振興計画策定	479万円
○農業総合地図情報システム整備事業	2,209万円
○大宮町河辺西部地区での農村振興総合整備事業	4億4,232万円
○有害鳥獣被害への対応経費	3,801万円
○クロアワビ試験養殖施設整備事業	1,058万円
○観光定置船設置事業交付金	7,000万円
○地域水産物供給基盤整備事業（浜詰漁港）の実施	1億3,500万円

**鮮度の保持を徹底
付加価値を向上**

サワラは身が柔らかく、傷がつきやすい繊細な魚です。そこで、魚を傷つけず新鮮な状態で水揚げするため、市内には「殺菌冷却海水・流動海水製造装置」を整備されている漁協もあります。この装置は、汲み上げた海水を紫外線で滅菌したのち冷却し、シャベット状の水を製造します。この水を漁船に積み込むことで、砕氷を積み込んでいる場合に比べ、水揚げしたサワラを傷つけずに急速に冷却することができま。水揚げから帰港までの間も、このシャベット状の水を使うことで、高い殺菌効果と鮮度の保

持を実現。付加価値を高めた水産物の供給に向けた努力がなされています。

このように、漁獲量も多く、水揚げの段階で付加価値のある丹後産のサワラですが、「サワラってどんな形」、「どのようにして料理するの」、「サワラだと意識して食べたことがない」など、市内ではほとんど知られていない状況にあります。

六次産業創造プロジェクトチームでは、これらの解決に向け、サワラを活用した特産品づくりや、地元での消費拡大などに向け、一次・二次・三次の各分野でさまざまな取り組みを実施していきます。



水揚げされたサワラ（湊漁業協同組合）

漁獲量2年連続日本一の「サワラ」（平成18・19年） 「食の定着」と「地産地消」への取り組み

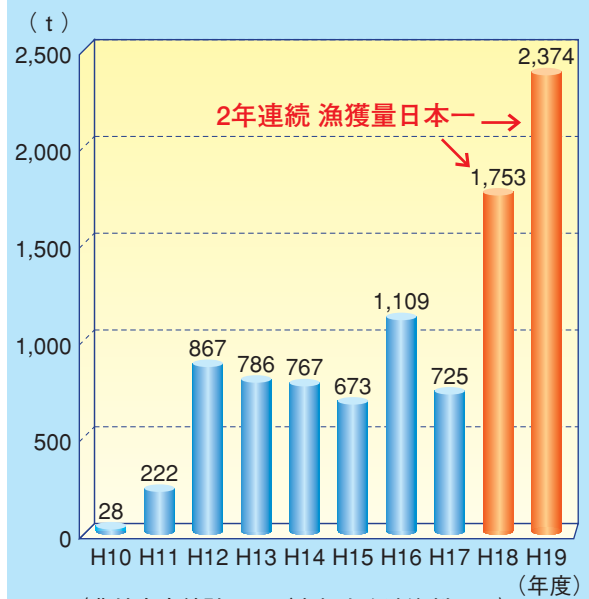
～6次産業創造プロジェクト～

6次産業…1次・2次・3次産業が一体となって総合産業（6次産業）として発展をめざそうとするもの

「サワラ」って どんな魚

サワラは、北海道南部から本州沿岸に棲息するサバ科の回遊魚。成長につれて呼び名が変わり、五五ツ以上を「サ

京都府のサワラ漁獲量の推移



京都府で水揚げされる「サワラ」の漁獲量が、平成十八年および平成十九年の二年連続で日本一となりました。サワラは丹後で大量に水揚げされる魚ですが、地元ではあまり口にされることがありません。しかも安価なため、漁獲量の割に漁業者の収入増になかなか結びつかないのが現状です。市ではこれらの課題に対処しようと昨年、六次産業創造プロジェクトチームを設置。漁獲量日本一の「サワラ」を京丹後市の地域資源と位置づけ、京都嵐山吉兆の徳岡邦夫総料理長からの指導も得るなど、サワラの新たな調理法や加工品開発などの取り組みを行っています。



地産地消と食育を推進 給食に サワラの使用を開始

京丹後市でなじみの少ないサワラを地域で食べられる食材にする取り組みの一環として、九月から市立保育所の給食で利用がはじまりました。

特産品となつていてるものの多くは、地元で消費される料理をもとに加工したものである場合が多く、地元で食べない食材は特産品になりにくい傾向があります。

つまり、地元で水揚げされるサワラを口にする機会が少ない京丹後市では、サワラを加工し特産品とすることが難しいといえます。

そのため、市プロジェクトチームでは、サワラを活用した特産品づくりと並行して、地元で消費する機会を増やし、サワラがより身近な食材となるための取り組みを実施しています。



サワラを使った料理を検討

給食で「サワラのケチャップ和え」を堪能（吉原保育所）

地元消費拡大に向けた第一段階の取り組みとして、市内すべての保育所、小・中学校および幼稚園の給食での利用を検討。七月ごろから調理師や栄養士などの給食関係者で構成する検討会議や研修試食会で、サワラを使った給食用レシピの作成がすすめられ、「味に癖がなく子どもにも食べやすい」、「栄養価

が豊富」などの意見もあり、九月から市内全保育所の給食で導入が実現しました。

九月三日には、市内十九保育所の給食にはじめてサワラの揚げ物が出され、子どもたちは「おいしい」と地元産のサワラを口いっぱいにはおぼりました。

市では今後、月に一、二回、サワラの揚げ物やみそ煮などを保育所の給食に取り入れるとともに、年内には市内全小・中学校および幼稚園でも給食にサワラを使った料理を取り入れることとしています。これにより八千三百食分の給食でサワラが使われることとなります。

ワラ」、四〇〇五五ツ未満を「サゴシ」、四〇〇五五ツ未満を「ヤナギ」と呼びます。（呼び名は地域によって異なります）

「サワラ」は漢字にすると「鱈」ですが、旬は一〜三月。この時期のサワラは脂が乗り

府内で最も多い 京丹後市の水揚げ

一〜三月が旬とされるサワラですが、丹後での水揚げ量は九〜十二月が最盛期。サゴシやヤナギを中心に、昨年は

「寒鰯」と呼ばれる高価な魚ですが、この時期は活動が鈍るため漁獲量も減ります。刺身や焼き魚、西京味噌でつくる西京漬けなどで食べられます。

近年、京都府での漁獲量が伸びているサワラは、小型サワラのサゴシやヤナギが中心。サゴシは脂分が少ない割にはEPAやDHAをはじめ、ビタミンDやカリウム、タウリンを多く含み栄養価が非常に高く、癖の少ない味で食べやすい魚です。



■サワラ

頭が小さく細長い体形で、1歳ほどに成長します。銀白色の腹側面に灰色の斑点列があるのが特徴のサバ科の回遊魚。

EPA とは

エイコサペンタエン酸。魚の脂肪分などに含まれる、不飽和脂肪酸の一種。EPAには血液をサラサラにする働きがあり、動脈硬化や脳卒中の予防に効果があるとされています。

DHA とは

ドコサヘキサエン酸。魚の脂肪分などに含まれる、不飽和脂肪酸の一種。EPAと同様、血栓を予防する働きがあるとともに、脳の活性化を促進する効果があるとされています。

秋から冬にかけて一か月に三〇〇〜四〇〇トのサワラが水揚げされました。

京丹後市の漁業では主に、沿岸の魚の通り道に網を設置・固定して網の中に魚を追い込む「定置網漁業」によってサワラが水揚げされます。現在、本市で定置網漁業を操業されているのは、三津漁業生産組合（網野町）、浜詰漁業生産組合（網野町）、湊漁業協同組合（久美浜町）の三組合。この三組合で水揚げされるサワラの漁獲量は、平成十九年で八八六トンに及び、日本一の水揚げがある京都府の中においても、本市は最も大きな割合を占めています。

地域防災を考える機会に

市民のみなさんが主体となった 防災訓練を実施

台風時期による出水期を前に、不意に発生する自然災害へ備えるため、八月三十一日、防災訓練を実施。自主防災組織、災害時応援協定締結団体など市民のみなさんが主体となった訓練が実施され、約二千五百人の市民のかたが、高齢者のかたや障害者のかたなどの要援護者のかたの搬送や避難経路の確認、応急救護の方法などを確認されました。

今回の防災訓練は、「自主防災組織の育成と設立促進」、「災害時応援協定締結団体との連携強化」および「市民のみなさんの地域防災力の向上」を図ることに重点を



消火器の扱い方を確認（久美浜町布袋野）

置き実施。台風の接近のため、大雨洪水警報や市内数か所での土砂災害警戒情報の発令などにより、避難準備情報が発令された場合を想定して午前七時から行いました。

自主防災組織および災害時応援協定締結団体が訓練内容を主体的に計画

訓練は、市内二十五地区の自主防災組織・地区のみなさんが主体的に訓練計画を立てて実施されました。万が一に備え、避難場所へのスムーズな避難や要援護者のかたの搬送、AED（自動体外式除細動器）の取り扱い、土のうのつくり方、吹き出しなどさまざまな訓



消火栓の使用方法を確認（丹後町成願寺）

練を実施され、約二千五百人の市民のみなさんが参加されました。

あわせて、市と「災害時応援協定」を締結している団体などとの連携訓練も実施。市からの応援協力要請により、災害時に想定される電気復旧業務・通行規制業務・道路等応急復旧業務・飲料水等搬送業務などについても、避難場所などでの活動訓練が展開されました。

また市役所では、市内の避難者数や被害状況などの情報収集訓練、防災行政無線やインターネットを活用した情報発信訓練など、災害警戒本部の運営についての訓練を実施しました。

「宝くじ助成金」で防災資機材を整備

～自主防災組織の設立・運営を支援しています～

市内の自主防災組織のうち、網野町の「北大路区自主防災会」および丹後町の「大山自主防災会」では、今年度、(財)自治総合センターの宝くじの助成金を活用して災害発生時の応急対策に使用するための防災資機材を整備されました。

防災訓練の当日には、両自主防災会の会員のみなさんが、整備されたばかりの防災資機材の種類や使用方法の説明を受け、いざという時のために地域のだれもが使用できるよう、機材を手にとって確認されました。

大災害から自らの命と家族、そして地域を守るためには、自助・共助・公助の連携が欠かせません。なかでも災害発生時の初期段階では、地域を一番よく知っておられる地元のみなさんと結成される「自主防災組織」が大きな力を発揮します。

このように、宝くじの助成金をはじめ市の補助金など、

組織の設立や運営のサポートをする制度もありますので、現在、自主防災組織の設立をお考えの区につきましては、お気軽に総務課（☎69-0140）へご相談ください。



◀災害による負傷者の移送を想定し、整備された救助用担架の使い方を確認。（大山自主防災会）

家屋倒壊を想定し、整備したチェーンソーで救出訓練を実施。（北大路区自主防災会）



「救命のリレー」で安心なまちづくり 救マーク認定事業所 八十六施設に

市消防本部では、上級救命講習の修了者が常駐する施設を、事故などの発生の際に応急手当が行える事業所（「救マーク認定事業所」として認定する「救マーク認定制度」を一昨年から実施しています。三年目となる今年は、観光施設や宿泊施設など新たに二十事業所を認定。計八十六施設が「救マーク」認定事業所となりました。



救マーク認定交付式を開催

救命率を向上させようと、消防本部では市民のみなさんを対象に各種救命講習を実施しています。それらの取り組みの一つとして、平成十七年度府下で初めて「救マーク認定制度」を創設。今年度は、昨年認定を受けられた六十六事業所の更新とあわせて八十六事業所が「救マーク認定事業所」に認定されました。

九月九日に行われた認定交付式では、堂田消防長が「救命においては応急手当、救命処置、救命医療の連携プレーがたいへん重要。とりわけ応急手当においては、救急車が現場へ到着するまでの間、近くにおられるかたが迅速に処置していただくことが、救命率の向上につながります。安心・安全なまちづくりの実現に向けてご協力ください」とあいさつ。今年あらたに認定された事業所のみなさんに「救マーク」認定証が交付されました。

市消防本部では、「応急手当・救命処置・救命医療」といった「救命の連鎖」がさらに広がるよう、今後普通・上級救命講習を実施してい



「平成20年度優秀産品」に決定した5点

第10回Tango Good Goods 見本市開催!!

本年度の認定商品のお披露目をかねて、恒例の見本市を次のとおり開催します。

日時 10月24日(金)～26日(日)
10:00～17:00
(26日は16:00までです)
場所 宮津市民体育館(宮津市字浜町)

Tango Good Goods

百十二品目を認定

丹後地域の地場産品を丹後ブランド商品として認定し、地場産品の品質向上と販路の開拓を図り、地場産品の活性化に寄与することを目的に、今年も「Tango Good Goods」(タンゴグッドグッズ)が認定されました。

同認定事業は地域資源を発掘し、育成・支援する先進事例として全国からも注目されているものです。今年度の募集では、丹後二市二町から五十六社百三十二品目の申請があり、

八月二十七、二十八日の二日間に行われた認定審査会の審査を実施。新たに百十二品目が認定されました。また、この中からさらに企画力、実用性、デザインなどものづくりの模範となる商品五点が、優秀産品として認定されました。これで、「Tango Good Goods」は全部で九十三社二百五十七品目となりました。

世界・全国で活躍

2008 世界ジュニアレスリング選手権大会 (7月27日～8月3日 トルコ・イスタンブール)

48kg級 優勝 三村冬子さん
(網野高校出身・現日本大学1年生)
51kg級 優勝 堀内優さん (網野高校3年生)

2008 アジアカデットレスリング選手権大会 (7月21日～7月29日 ウズベキスタン・タシケント)

43kg級 優勝 植野さくらさん (網野高校2年生)
49kg級 優勝 明尾弥紀さん (網野高校3年生)
60kg級 優勝 伊藤友梨香さん (網野高校3年生)



左から堀内優さん、植野さくらさん、明尾弥紀さん、伊藤友梨香さん、三村冬子さん

第22回 全国男子中学生 ウェイトリフティング競技選手権大会 (8月24日 京都市)

48kg級 優勝 本田大智くん (大宮中学校1年生)
48kg級 5位 中村悠真くん (大宮中学校3年生)



左・中村悠真くん
右・本田大智くん

女子レスリング世界選手権2008 (10月11日～13日 東京)

59kg級 正田絢子さん (網野高校出身)



出場壮行会
で決意を述べる正田絢子さん

網野高等学校出身の正田絢子選手の女子世界レスリング選手権二〇〇八への出場が決まりました。正田さんの世界選手権出場は、三年連続五回目。九月二十日にアミティ丹後(網野町網野)で壮行会(網野レスリング後援会「丹心」主催)が開催され、正田さんは「昨年の世界選手権では予選で敗れて悔しい思いをした。北京オリンピックへの出場もかなわず一度はレスリングをやめようと考えたこともあったが、またこうして世界の舞台に挑戦できるのはみなさんのおかげ。不安やプレッシャーも感じるが、去年の悔しさと初心を忘れることなく、全力をだしたい」と決意を述べられました。(九月二十二日現在)

第63回 全国国民体育大会 (チャレンジ!・おおいた国体 9月28日～10月1日)

カヌー ワイルドウォーターレーシング (大分県・豊後大野市)
松本欣也さん (久美浜町)

カヌー フラットウォーターレーシング (大分県・豊後高田市)
綱あづささん (久美浜町河梨)

(9月22日現在)

元大宮町長 故吉岡秀男さん(大宮町周枳) 正六位に叙されました



故 吉岡 秀男さん

故吉岡さんは、昭和五十八年四月に大宮町議會議員に当選され二期四年六月在職の後、昭和六十二年十月に大宮町長に初当選され、合併までの十六年五月の永きにわたり、「地域の発展は人づくりから」を基本として、各地に地域リーダーを養成され、町の活性化にご貢献をいただきました。
中でも、平成元年には「ふるさと創生一億円」を原資として人材育成基金を積み立て、「大宮町づくり会」の発足や、平成四年にはリーダー育成会「大宮活性懇話会」、平成十二年には市町村塾「大宮アグリ二一塾」の設立にご尽力され、村づくりの仕掛け人を養成されるなど、常に全町的な魅力ある地域づくりを進められました。
また、社会基盤整備としては、奥大野バイパスや明田バイパスなどの道路整備、社会体育館や大宮町役場の建設など、町の発展に多大な力を注がれ、その功績が高く評価され叙されました。

奥大野村づくり委員会 「道路ふれあい月間」における 道路愛護団体等の 国土交通大臣表彰を受賞



左から委員長の
安田 昌洋さん
三谷 静代さん

奥大野村づくり委員会(安田昌洋委員長、七十六人)は、奥大野地区が丹後天橋立ツーデーマーチの歩行コースとなったときに、参加されるみなさんを花でおもてなしをしようと、花が好きな数人が中心となって、平成七年に設立。
十三年間の永きにわたり、地域の道路沿いにサクラソウのプランター(約六百個)を約一キロの区間に設置されるとともに、定期的に約四キロの区間の空き缶拾いに取り組まれるなど、年間を通して積極的に道路の環境美化活動をされています。
また、同委員会には、多くの地域の若者のかたも参加されており、地域が一丸となって取り組んでおられる功績が高く評価され、平成二十年度は、府内で唯一の団体として受賞されました。

近畿農政局 男女共同参画優良事例表彰 を受賞

和田房子さん(久美浜町三谷)



和田 房子さん

和田房子さんが近畿農政局男女共同参画優良事例表彰を受賞されました。
男女共同参画社会の実現が二十一世紀重要な課題となっている中、女性農業者のかたは農業・農村の重要な担い手となっています。
和田さんは、きょうと女性農業委員の会理事や全国指導農業士連絡協議会理事を歴任。地域では女性農業者の会「たんぽぽグループ」を結成され、相談活動を通じて女性農業者のかたなどの農業経営や社会参画を支援してきました。また、認定農業者のかたを対象とした学習会で講師を務められるなど、男女共同参画の実現へとつながる経営参画や社会参画などの顕著な功績が高く評価され、受賞されました。

練習のときには、意見が合わなくてバラバラになったこともあったけど、話し合い、再び団結しました。本番は最後の舞台ということもあり、みんな練習のときより硬くなっていたリズムもずれたし、「間違えた」という人も多く、お客さんや審査員の先生にどう評価されたのかとても不安でした。

しかし、みんなで三組らしく楽しく踊れたので、達成感に満ちあふれていました。つらいときもあったけど三組のみんなだったから最後までがんばれました。結果発表で三組が選ばれたときは、うれしすぎて涙があふれ、心から叫びました。三年三組の一員で本当によかったです。クラスのみんなやお世話になった先生方に心から感謝しています。参加



「我龍麗舞～Last Story～」

今年の「峰高祭」は、数年間出ていなかった演劇の部で、最優秀賞が出るなど、いつも以上に盛り上がりを見せた「峰高祭」でした。あふれるPASSIONと一人ひとりのCOLORを青春のページに刻むことができたでしょう。最高に楽しい「峰高祭」でした。



やっぱり7組最強

体育の部 育の部では、三年七組がぶちぎりで優勝しました。三年七組は理系クラスで体育クラブに所属する男子が多く、とても明るく楽しいクラスです。体育の部では男女力を合わせて、最後の学校祭で有終の美を飾ることができました。

組大好き！
三年七組

峰高祭

龍魂盛春
～溢れるPASSION
×1人ひとりのCOLOR
＝青春～



高校 グラフィティ ～graffiti～

市内の高等学校（分校）の生徒のみなさんによるコーナーを「高校グラフィティ」として掲載します。市の次代を担う高校生の方のご活躍などをご紹介します。

内容は、高等学校の活動などについて、生徒のみなさんが作成されています。第1回目は峰山高等学校のみなさんの活動についてご紹介いたします。（生徒会広報部のみなさんが作成）

昨 年私たちのクラスは文化祭でダンスをしましたが、全くまとまらなくてとても恥ずかしい発表をしてしまいました。だから今年は、絶対に成功させてやろうという気持ちでクラスみんなにあつたと思います。練習をはじめたころは本当にちゃんとできるのか不安でしたが、発表後お客さんに「よかったよ」、「感動した」と声をかけてもらったときにすごい達成感を感じました。真剣にやり切った劇だったので結果がどうであれ、『よかった！』と思っています。ところが閉会式で『最優秀賞』と発表されたときには涙があふれてきました。最後の文化祭で最優秀賞を取ったこと、クラスみんなががんばったことは一生の思い出です。三年六組『夏休み』最高！



演劇部門 三年六組『夏休み』

九月二日、四日に「峰高祭」が開催されました。最初の二日間は文化の部で演劇・ダンス・校門アーチ・オブジェなど各クラスの取り組みを発表しました。三日目は体育の部です。クラスで団結して競い合いました。

今年の「峰高祭」は「龍魂盛春」溢れるPASSION×一人ひとりのCOLOR「青春」というテーマを立てました。このテーマには龍のようにあふれるエネルギーをぶつけ、峰高史上最高の盛り上がりをめざす「峰高祭」にし、「青春のページ」に刻むという意味が込められています。どのクラスもこの日のために夏休み当初から一か月以上活動し、すばらしいまとまりを見せた三日間でした。

ここで最優秀賞をとったクラスのコメントをご紹介します。

「クリーンプロジェクト」で まちを美しく

峰山高校では、生徒会を中心に「峰山町をきれいにしよう」という思いからこの活動をしています。この活動では、生徒会と校内のボランティアで町内のごみ拾い、バス停、峰山駅、小西川の清掃を行い、また花壇づくりなどを通じて「美しいまちづくり」をめざしています。

活動は、年に4回行い、多いときには100人以上の生徒が参加しました。この活動でまちをきれいにするとともに、町のみなさんと交流したり、生徒のごみに対する意識を向上させ、自分たちのまちを大切にしようという気持ちを育てようとしています。これからもどんどんきれいなまちにしていきたいです。



町も僕らの教室だ

今 峰山高校ではプルタブを集めています。学校全体で「何か社会の役にたつことをはじめたい」という思いから、この活動ははじまりました。

空き缶のプルタブをドラム缶一杯分集めると、車椅子と交換していただけます。そこで学校の生徒にも協力を呼びかけ、たくさんのプルタブが集まりましたが、まだドラム缶一杯には足りません。この活動を聞かれた福祉施設のかたからも、毎月ペットボトル一杯のプルタブをご協力いただいています。この記事を読んでおられるみなさんも、ぜひプルタブ活動にご協力ください。プルタブで車椅子を！



これだけ集まりました

「プルタブ」で車椅子を

第8回2008 歴史街道丹後 100km
風光明媚な秋の
丹後路を力走

美しい景色の丹後松島を背に力走

一〇〇kmと六〇kmのコースを力走する「二〇〇八歴史街道丹後一〇〇kmウルトラマラソン」(同実行委員会主催)を、九月十四日に開催し、全国から参加した千二百三十一人のランナーが風光明媚な秋の丹後路で健脚を競いました。

同大会は、各種団体や高校生など約五百人にも及ぶ多くのかたに交通整理や休憩所の運営などのご協力をいただいた、起伏の激しい過酷なコースにもかかわらず、人の温もりを感じていくイベントとして好評をいただいております。今年は昨年より参加者が百五十七人増えました。



60kmの部スタート

丹後産の新米コシヒカリの
バラ寿司がふるまわれました



100kmの部スタート

八回目となる今大会は、一〇〇kmの部に八百三十七人、六〇kmの部に三百九十四人が参加。同六〇kmの部にはゲストとして弁護士で参議院議員の丸山和也さんも参加されました。

沿道のみなさんの「頑張ってください」、「もう少しでゴールです」という明るい声が響き、ランナーのみなさんからは「ありがとう」とお礼の言葉が返されるなど、参加者みんなが温かい気持ちで、海や山の景観を眺めながらゴールを目指しました。

また、本部会場では地元産ブドウを使ったジュースが販売されたほか、弥栄庁舎に設置したレストステーションで

は、丹後産の新米コシヒカリでつくった「バラ寿司」をふるまうなどランナーのみなさんから好評をいただきました。

完走したランナーの一人は「これまで七回の大会に出場しましたが、今年は天候にも恵まれ、多くの声援に支えられ、完走することができました」と話されていました。

京

丹後に初めて来ましたが、海がきれいですね。

弁護士・参議院議員
丸山和也さんにインタビュー



マラソンコーディネーターの坂本雄次さんと丸山和也さんが久美浜湾沿線を力走

このウルトラマラソンは八回目を迎えるということで、全国から多くのかたが集まり熱気に溢れています。七十三歳のかたが参加されるそうですが、すごいですね。マラソンは、苦しさに耐えて完走したときの充実感が最高です。

世代を越えた人が集まり、巡り会いの場所としての楽しみがあり、この歴史街道丹後一〇〇kmウルトラマラソンはすばらしい大会です。

優勝目指して熱戦を展開 丹後のオリンピック 第4回京丹後市総合体育大会



「丹後のオリンピック」として親しまれている「京丹後市総合体育大会」(市体育協会主催)が、九月七日、峰山途中ヶ丘公園(峰山町長岡)をメイン会場に市内一円で開かれ、市体育協会各支部の代表選手約二千人が、スポーツを通して交流を深めました。

午前八時から行われた開会式では、大会会長の伊東富英市体育協会会長が「この大会は、スポーツに対する情熱とアスリートとしての誇りと勇気を発揮する舞台です。選手のみならず、今日一日大いに熱く燃焼しよう」とあいさつ。また、大会名誉会長の中山市長が選手のみならず、選手を代表して中村大地さん・田中直子さん(峰山支部・卓球)が「この伝統ある丹後のオリンピックで日ごろの練習の成果をいかななく発揮し、正々堂々闘うことを誓います」と力強く選手宣誓。

十八会場で十七競技、二十四種目にわたって、各支部が優勝目指して熱戦を展開しました。

各選手は、時折雨が降る天候にもかかわらず、多くの声援を受け、終日さわやかな汗を流し、結果、九種目を制覇した網野支部が見事二年ぶりに総合優勝に輝きました。



総 合 成 績

優 勝	網野支部	第4位	久美浜支部
準優勝	峰山支部	第5位	丹後支部
第3位	大宮支部	第6位	弥栄支部

「数字は順位」

	網野支部	峰山支部	大宮支部	久美浜支部	丹後支部	弥栄支部
総 合 成 績	1	2	3	4	5	6
陸 上 男 子	1	4	5	3	2	6
陸 上 女 子	3	4	2	5	1	6
軟 式 野 球	1	5	2	3	6	3
卓 球	4	1	3	2	5	5
バレーボール男子	1	2	4	3	—	5
バレーボール女子	1	2	3	5	5	4
バレーボール家庭婦人	4	2	3	5	5	1
ソフトボール壮年男子	2	4	5	1	5	3
ソフトボール一般女子	5	1	2	3	—	4
ソフトテニス	3	1	5	2	5	4
柔 道	1	—	2	—	—	—
剣 道	1	6	2	4	3	4
ゲートボール男子	6	4	2	5	1	3
ゲートボール女子	6	1	4	2	5	3
バドミントン	1	3	2	—	4	5
サ ッ カ ー	3	6	1	4	5	2
テ ニ ス	4	2	3	1	—	—
グラウンドゴルフ男子	2	1	5	3	4	6
グラウンドゴルフ女子	2	5	1	4	3	6
バスケットボール男子	1	4	5	2	3	6
バスケットボール女子	2	3	1	6	4	5
ゴ ル フ	2	3	4	1	6	5
ボ ウ リ ン グ	1	4	2	5	6	3
ソフトバレーボール	2	1	5	3	4	6

夏休み最後を京丹後の自然で締めくくる



豊かな自然が多く残る京丹後市では、森林を守り育てるため、八月三十日・三十一日の二日間、弥栄町野中で「森林ボランティアin京丹後市」を開催し、日本全国の都市部のみなさんと協働して、森林の間伐作業などを行いました。

近年、地球温暖化が社会的に大きな問題となっており、環境への関心が高まる中、温暖化の原因となる二酸化炭素を減らす森林の機能が注目されています。

一方、農山村地域では、全国的に過疎化、高齢化が進む中、山林の荒廃が進み、森林の持つ公益的機能が低下しつつあります。

そのような中、市内にあふれる豊かな緑の環境を次代に引き継ぐと、平成十一年の「森林宣言」を契機に、合併前の平成十四年度から森林ボランティア事業を実施しています。

同事業は、「人と緑」をキーワードに森林の間伐や植樹活動など、緑のボランティア活動の普及・啓発活動に取り組むNPO法人「地球緑化センター」（東京都）のご協力により、全国から参加者を募集。夏休みの最

森林ボランティアin京丹後市

森を守り・温暖化をストップ



間伐作業を体験する森林ボランティアのメンバー

後を京丹後の自然で締めくくろうと、奈良県や東京都など全国から十三人のかたにご参加いただきました。

間伐作業では、地元で林業に携わるかたを指導者として伐倒方法などを指導。野中地区の山林約二〇㍓で、参加者のみなさんが二班にわかれ、直径約一五〜二〇㍓のヒノキをノコギリなどで間伐しました。参加されたかたは「京丹後の豊かな自然の中でさわやかな汗が流れて気分がいい。ノコギリを使って木を切るのは難しかったです。今回の間伐作業を体験し、森を守ることの大切さを実感しました」と話されました。

立派な大木をつくるためには間伐が必要です

木村 文明さん



間伐が大切であることを野中地区で林業を営む木村さんにお伺いしました。

人工林は、手入れをしないと節の無い立派な大木には育ちませんし、モヤシのような細い木になり、大雨や台風などで土砂崩れが発生しやすくなります。

そのような災害を防止するためには、木を間引き（間伐）、森に太陽の光を入れて、丈夫な大木に育てることが大切です。

最近の若いかたはサラリーマンが多く、ほとんどのかたは山に関心が無いようです。また、過疎化、高齢化による手入れ不足で、せっかく植林した木が大きく育たず、山林の荒廃が進んでいます。

森林ボランティアの取り組みは、全国から多くの世代を超えたかたにご参加いただき、間伐作業などの体験をしていただく中で、森林保全の大切さを学んでいただきました。

今後も、森林ボランティアのみなさんによる取り組みを活発に行っていただき、少しでも多くのかたに森林保全に対する関心を持っていただけたらと思います。

まもなく 完成 するツリーハウスで制作ワークショップも開催



ツリークライミングを楽しむ様子

豊かな自然を生かした地域振興策の一環として九月から制作をはじめている久美浜町蒲井・旭地域のツリーハウスで、九月二十日・二十一日の二日間、「ツリーハウス・制作ワークショップ（体験講座）」を開催しました。地元住民のかたをはじめ、大阪や岡山、東京などから約六十人が参加され、ツリーハウスの制作やツリークライミング（木登り）および漁業体験を通じて、自然とのふれあいと絶景を楽しみました。

同地域でのワークショップは、昨年から開催しており、今回で二回目。日本のツリーハウスの第一人者である小林崇さんが代表を務めるツリーハウス・クリエイションに市が委託し、同地域で十月上旬の完成に向け、ツリーハウスを制作しています。ワークショップでは、タブの木（高さ約十六メートル）に設置する床部分の成形作業の体験や、ツリークライミングのほか、浜のごみ拾いや丹後地域の伝統漁法「タコばかし」でのタコ捕りなどを満喫しました。

ワークショップに参加されたかたは「この海の眺めの綺麗なツリーハウスが完成したらまた来たいです。京丹後の自然といった魅力が体験できてよかったです」と笑顔で話してくれました。

さわやかな秋晴れとなった九月二十日、「立岩」のライトアップなどを行う「第二回間人（はしうど）こころ灯籠（とうろう）祭」が、間人こころプロジェクト委員会（代表・今出龍さん、十六人）の主催により、道の駅でんき丹後（丹後町竹野）一帯で開催されました。

同灯籠祭は、京都府地域力再生プロジェクト支援事業交付金を活用するとともに、地域の寄附金などで実施されたもので、竹野川河口に勇壮に切り立つ名勝「立岩」をライトアップし、京丹後の誇るべき自然のすばらしさを認識し、守り、継承する



こころの灯りで未来の子どもたちへ伝える

第二回

間人こころ灯籠祭

とともに、親子や家族への愛情の絆を灯籠流しで発信する試みとして昨年から開催されており、今年で二回目となりました。

午後六時からアマチュアバンドによる「こころコンサート」の演奏で祭りの雰囲気盛り上がり、午後六時三十分から立岩をライトアップするとともに、かがり火や灯籠、松明（たいまつ）で海岸が照らし出されました。地域のお子さんや来場者のかたが、家族や大切な人への思いを託してつくられた約九百五十個の「こころ灯籠」を、立岩へと注ぐ竹野川河口へ流し、「地域の温かいこころ」を美しい灯りで表現。訪れた約千二百人の来場者は、海上で輝く漁り火と灯りが織りなす幻想的な風景に魅了され、フィナーレは間人太鼓と打ち上げ花火が飾りました。



勇壮な「立岩」の前でフィナーレを飾る花火



夏休み最後の日曜日 碓高原が熱く盛り上がる

いかい高原まつり

夏休み最後の日曜日となった八月三十一日、丹後町の碓高原一帯で、「いかい高原まつり」が開催され、約八千人の親子連れなどが、人気キャラクターショー、大ビンゴ大会、自然や動物とのふれあいなどを楽しみました。

まつりは、同実行委員会の主催により、豊かな自然あふれる碓高原の



「炎神戦隊ゴーオンジャー」ショーで盛り上がる

魅力をPRするとともに、魅力と活力あるまちづくりを目指し、昭和六十一年から毎年開催しており、今年で二十三回目を迎えました。

メイン会場の自由広場では、「炎神戦隊ゴーオンジャー」ショーに、子どもたちが歓声をあげ、終了後には人気キャラクターとの記念写真撮影会を楽しむとともに、丹後町出身の花満敏喜さんの「歌謡ショー」や、「一千人の大ビンゴ大会」など多彩な催しが繰り広げられ、芝生の上で家族そろって、露店のおにぎり、焼きそば、ステーキなどを食べたり、ジューズ、ビールを飲んだり家族団らんの姿が見られました。

また、恒例となった「大ビンゴ大会」では、ステージにある豪華賞品の獲得を目指して、熱心にビンゴカードに当たりがないか探し、折り畳み自転車や当たらると大きな歓声があがるなど、夏の碓高原が熱く盛り上がりました。

京都府のひろば

みなさんとともに
よりよい地域をめざします

「出前語らい」「ワークショップ」など

丹後土木事務所の取り組み

京都府丹後土木事務所では、府民のみなさんとともにより良い地域をつくるため、「出前語らい」や「ワークショップ」、「ボランティア活動」など、府民のみなさんにご参加（府民参画）いただける取り組みを実施しています。



宇川地域でワークショップを開催

京都府では、府民のみなさんが府政をより身近に感じていただくための制度、「出前語らい」を実施しています。「出前語らい」では、府民のみなさん

のご希望に応じて府職員が直接出向き、府の取り組みについて説明するとともに、気軽に意見交換を行っています。

また、さまざまな立場のかたが集まって、自由に意見を出し合い、互いの考えを尊重しながら、意見や提案をまとめ上げていく「ワークショップ」も実施しています。

「ワークショップ」は、道路や河川などの整備を進める上で、府民参画の手法の一つとして実施。京丹後市でも、毎年八月に開催される宇川地区の「アユ祭り」会場となる中瀬橋近くの親水公園を整備する際、地域のみなさんと一緒にワークショップを開催し、整備の方向について検討しました。住民のみなさんのボランティア活動としては、天橋立の白砂青松を守る取

パントマイマー山本さくらさん 15年ぶりに故郷で公演



母校の豊栄小学校でパントマイムを演じる山本さくらさん・演技に魅了される観衆のみなさん

世界各国で活動が続けている京丹後市丹後町徳光出身のパントマイマー山本さくらさんが、九月十九日、母校の豊栄小学校（丹後町成願寺・高倉美也子校長・八十七人）で昼と夜の二回公演を行いました。

山本さんは、中学校卒業まで丹後町に在住し、現在は、東京を拠点にソロ公演を続け、イギリスやポルトガルなどヨーロッパでのフェスティバルに招待されるなど、世界各国で芸術的なパフォーマンス活動を行っています。

昼の公演は、豊栄小学校の取り組み文化庁芸術家等派遣事業として、児童にパントマイムの体験学習を行っていたことを目的として行わ

れたもので、全校児童と参観の祖父母のみなさん計約百六十人は、壁やロボットの動きに挑戦し、実際の壁の感覚を思い浮かべて体を動かすなど、ない物を見えるようにするパフォーマンスの難しさを学習しました。

一般のかたを対象にした夜の公演では、壁など基礎的な演技をはじめ、夏目漱石「夢十夜」から構想を得たパントマイムやおばあさんの日常を描いた「ウメさん」などの演目を披露し観衆を魅了しました。この公演は、山本さんの中学校時代の同級生有志と豊栄地区公民館が、故郷のみなさんへの感謝とお礼を兼ねて企画されたもので、丹後町では十五年ぶりの公演となりました。



『土木フェスタ2008inたんご』を開催

丹後土木事務所では、今後も府民のみなさんに府政をより身近に感じていただけるよう、さまざまな取り組みを行うこととしています。その一環として、「土木をもっと身近に」をテーマに「土木フェスタ2008inたんご」を開催します。大人も子どももお楽しみいただける内容となっていますので、ぜひお越しください。

- 日程 11月14日（金）～16日（日）
- 場所 ショッピングセンター・マイン
- 内容 「パネル展示」、「起震車体験」、「土木クイズ」、「ラジコンショベル」など



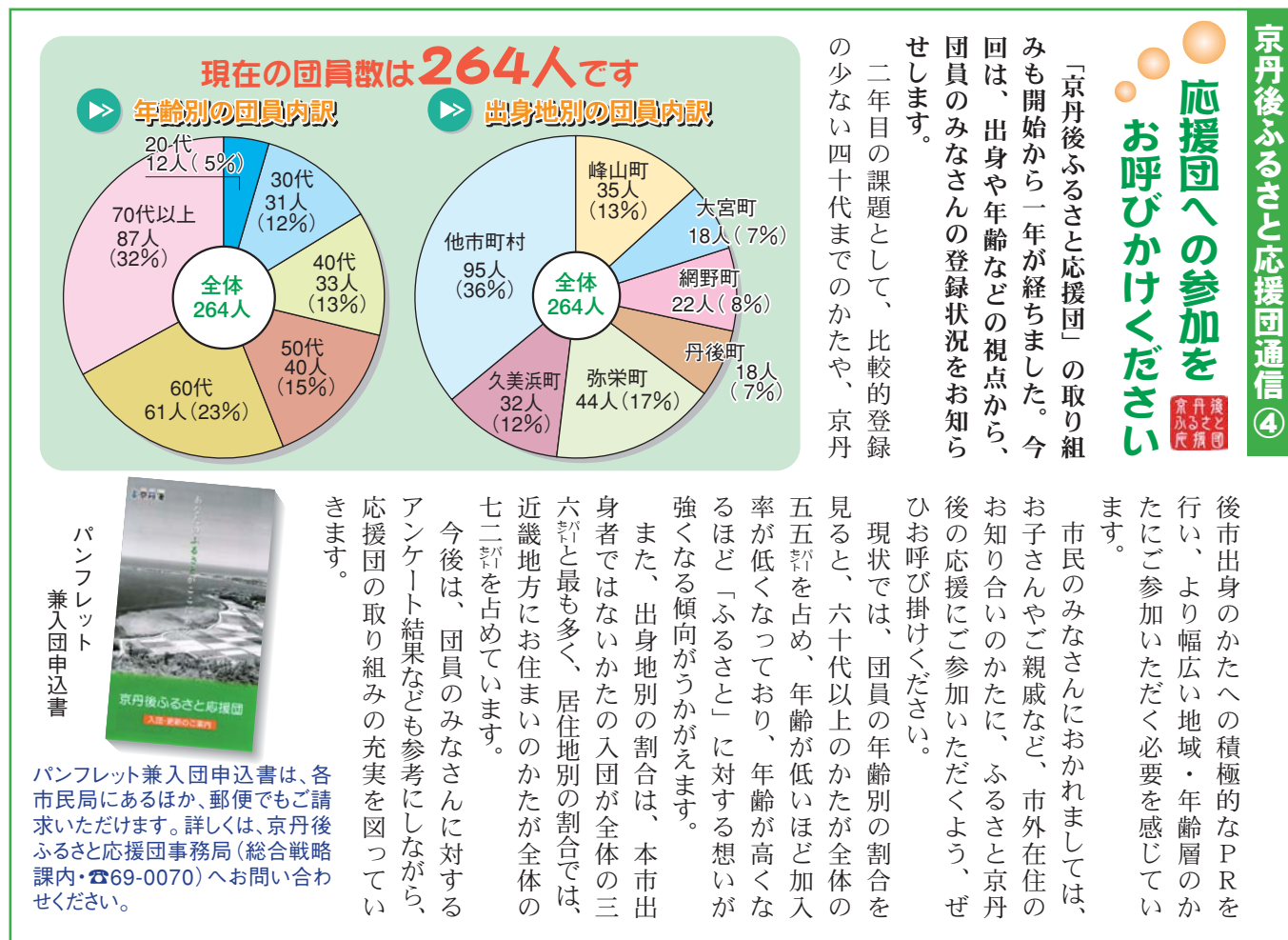
土木フェスタ2007 in たんご



さわやかボランティアロード（網野町掛津）

す「たんご地域に愛される川づくり事業」を実施しています。

○お問い合わせ先／京都府丹後土木事務所
（☎〇七七一二二二二四三）



京丹後ふるさと応援団通信 ④

応援団への参加を
お呼びかけください

日ごろの感謝を地域へ還元

飲食業者のみなさんが福祉施設で
食のボランティア



感謝の気持ちが込められた料理に舌鼓

網野町料理組合（二十九軒・岡田芳和代表）が障害者福祉センター・桃山の里（網野町網野）で、九月二日、食のボランティア活動を実施。施設を利用されているかたへ、自慢の味で百十食分の弁当を提供されました。

地域のみなさんの日ごろのご利用に感謝し、少しでも地域にお礼をしたいとの思いから、同組合が初めて企画し実現しました。当日は、午前七時から、同組合に加盟する飲食業者のみなさん十八人が、

食材をもって障害者福祉施設「桃山の里」を訪問。同センターの厨房で刺身やてんぷら、酢の物など、地元産の食材を中心とした料理に腕を振るわれ、薄味で栄養バランスが考慮された弁当を仕上げられました。

準備された百十食分の弁当は、さっそく施設の利用者のみなさんなどが昼食で味わい、「おいしい」と舌鼓。網野町料理組合のみなさんの自慢の味を満喫されました。

岡田代表は「日ごろお世話になっている地域のみなさんに、少しでもお礼ができればと考えています。地域のみなさんとのふれあいを大切に、自分たちのつくった料理を食べていただき、喜んでいただけることが何より嬉しいです。組合としても『輪』を大切に、今後も年に一回、福祉施設などでこういった活動を実施していきたいと思います」と話されました。

イベント列車 京丹後市民号



で行く



<利用車両:丹後ゆめ列車(臨時列車)>

「晩秋の
竹野&城崎温泉ツアー」

京丹後市・北近畿タンゴ鉄道㈱では、本市の基幹交通であるKTR（北近畿タンゴ鉄道）の利用促進を図るため「京丹後市民号『晩秋の竹野&城崎温泉ツアー』」と題したイベント列車を運行します。

実施日	11月16日(日) (丹後大宮駅発で市内各駅に停車し豊岡へ)
定員	45人 (申し込み先着順)
対象者	市内在住または在勤のかた
参加費	大人(中学生以上) 4,900円 子ども(小学生) 3,590円 小学生未満 200円 (小学生未満のお子さんは、保険料のみで食事はありません。食事をご希望のかたは、お申し込みの際お知らせください。食事代は、当日の精算となります)
事業実施	北近畿タンゴ鉄道(株)・京丹後市
申し込み	10月15日(水)以降に、ハガキまたはファクシミリで下記へお申し込みください。(申込者全員の氏名・年齢・乗車駅名、代表者の氏名・住所・郵便番号・電話番号をご連絡ください)
申込先・お問い合わせ先	〒620-8504 福知山市天田118-1 JR西日本支社ビル5階 北近畿タンゴ鉄道(株) 企画総務課 ☎ 0773-24-2510 (平日9:00~18:00) FAX 0773-24-2503 (24時間)

行程	11:20ごろ 豊岡駅 → 12:00ごろ到着 竹野町「北前館」でお食事 旬のお魚会席 → 13:00ごろ 北前館周辺散策 北前船のご紹介・温泉・お買い物 (タオルをご持参ください) → 14:00 バスで出発
行き	10:20ごろ 丹後大宮 → 10:25ごろ 峰山 → 10:30ごろ 網野 → 10:45ごろ 木津温泉 → 10:50ごろ 丹後神野 → 10:55ごろ 甲山 → 11:00ごろ 久美浜 → 11:20ごろ 豊岡 (バスに乗り換え)
帰り	17:55ごろ (バスから乗り換え) 但馬三江 → 18:05ごろ 久美浜 → 18:10ごろ 甲山 → 18:15ごろ 丹後神野 → 18:30ごろ 木津温泉 → 18:35ごろ 網野 → 18:45ごろ 峰山 → 18:50ごろ 丹後大宮

京都府丹後文化会館イベント情報 お問い合わせ ☎ 62-5200

丹後映画大好き劇場 NO.16「それいけ!アンパンマン」



10/26(日)

◎場 所…京都府丹後文化会館
◎上映日時…10月26日(日)
1回目/10:00~11:13 2回目/13:00~14:13 3回目/16:00~17:13
◎入 場 料…一般券 前売 1,200円(当日1,500円) 幼児(2歳以上)・小・中学生 前売 700円(当日800円) (全席自由) ※前売券は各プレイガイドで好評発売中
◎主 催…(財) 京都府丹後文化事業団

桂三枝の笑ウインドウツアー2009
～創作落語独演会スペシャル～



平成21年1月17日(土)

◎場 所…京都府丹後文化会館
◎公演日…平成21年1月17日(土)
◎時 間…18:30 開演(18:00開場)
◎入 場 料…一律前売 4,000円(当日500円高) (全席指定) ※未就学児の入場はご遠慮ください
※前売券は各プレイガイドで10月下旬から発売予定
◎主 催…京丹後市・(財) 京都府丹後文化事業団



「だっちゃん倶楽部」は、週一回、合計十二回（概ね三か月間）にわたって実施する運動機能向上のための教室です。転倒やつまづきを予防するために必要な「足腰の筋力」および「関節の柔軟性」を高める運動を行っています。教室の最初と最後には体力測定をして、運動の効果をこ

特定高齢者通所型介護予防事業「だっちゃん倶楽部」
市では、運動機能向上や栄養改善のための教室など、介護予防に関する教室を開催しています。今回は、特定高齢者と診断されたかたのうち、運動機能に低下のあるかたを対象に開催しています。特定高齢者通所型介護予防事業「だっちゃん倶楽部」をご紹介します。

確認いただくなど、みんなと一緒に参加することで、意欲も高まり楽しく続けることができます。また、教室終了後も運動を継続していただくため、運動日誌をつけていただき、ご自宅での運動を継続されて、筋力が衰えないようにがんばっておられます。

あなたの健康
応援します

健康ひとくちメモ

介護予防をはじめませんか

何歳になっても、自分らしく生き生きと暮らしていくために、「介護予防」をはじめませんか。だれもが年齢を重ねると、足腰が弱くなり、視力・聴力などの感覚器の機能も低下し、日常生活がおっくうになりがちです。特に膝などの関節に痛みがあると、足が上がりにくくなり、つまづきや転倒が増えてきます。そうなるのを避けて閉じこもりがちになり、やがて心身ともに要介護状態を招くことにもつながります。

「高齢（とし）だから仕方ない」と言わずに、元氣なうちから、自分のできることを増やし、活動的な日常生活を送りましょう。

ご存じですか 「生活機能評価」

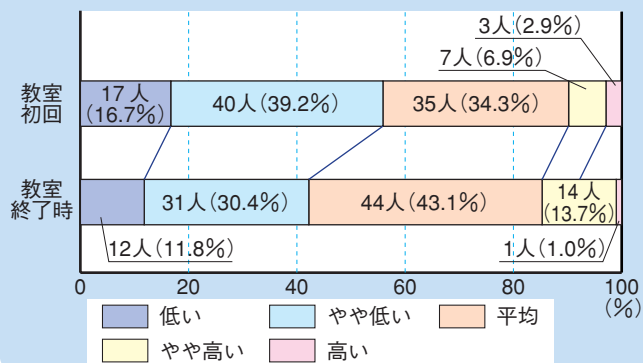
介護保険制度では平成十八年度から、満六十五歳以上のかたを対象に、介護が必要となる可能性を調べる「生活機能評価」を行っています。「生活機能評価」は、二十五項目の質問や血液検査、医師の診察などによって行い、生活機

能の低下の有無を介護予防の観点から評価するもので、本市でも、市の総合検診で実施しています。評価の結果、「近い将来、介護が必要となるおそれがある」と診断されたかた（Ⅱ特定高齢者）へは、介護予防の相談や介護予防教室を紹介するなど、介護予防のお手伝いをしています。

「だっちゃん倶楽部」に参加されたかたの運動機能などの変化

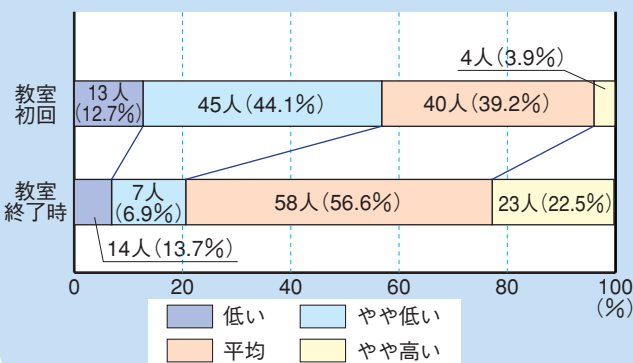
長座体前屈

体の柔軟性を見る体力測定である「長座体前屈」です。柔軟性が向上することで、つまづいた時にバランスを崩さず体勢を立て直しやすくなります。教室の初回では、平均以下のかたの割合は55.9%でしたが、教室終了時には42.2%に減っています。



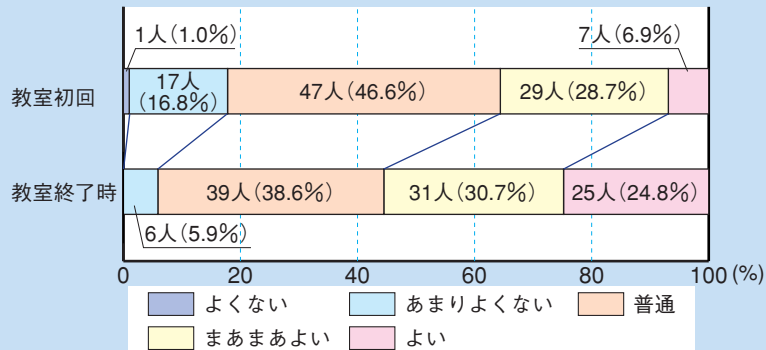
歩行速度

歩行は、バランス力と筋力が保たれていることが大切です。一定の歩行速度が保てることにより、安全に道路を横断できたり、買い物などの外出ができます。教室の初回では平均以下のかたの割合は56.8%でしたが、終了時には20.6%に減っています。



主観的健康感 （健康度アンケート結果から）

教室のはじめと最後に「現在の健康状態」をお尋ねしました。「良い・まあまあ良い」と答えたかたは、教室の初回には35.6%でしたが、教室終了時には55.5%に増加。「あまり良くない・良くない」と答えたかたは、初回17.8%でしたが終了時には5.9%に減少しました。健康感の向上は、生活意欲の向上につながり、前向きに日常生活を送ることができます。

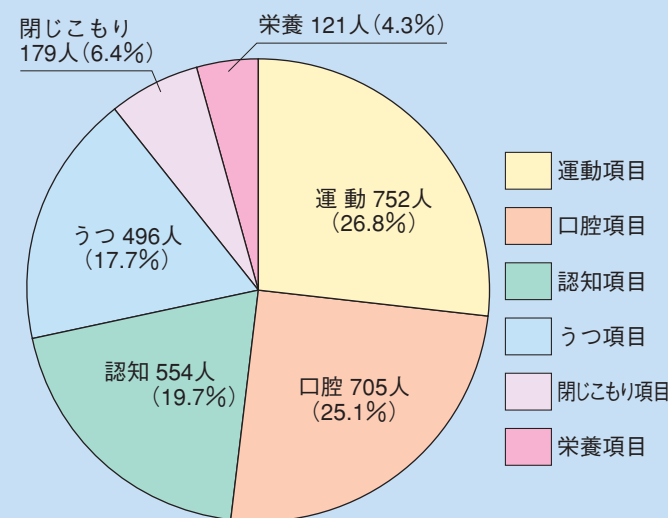


生活機能評価受診状況

65歳以上人口 (年度末)	受診者 (受診率)	生活機能 低下あり
17,988人	5,409人 (30%)	1,321人

平成十九年度は、受診されたかたのうち、千三百二十一人、二四・四割のかたに生活機能の低下が見受けられます。主に、運動機能・口腔機能の低下が見られるかたが多く、次いで、認知・うつ項目に該当するかたが多くなっています。生活機能は、何かの原因

生活機能評価で見られる 機能低下の内容



で閉じこもりがちになり、足腰が弱くなったり、頭を刺激する機会が少なくなるなど低下してきます。ひとつの項目だけでなく複数の項目に該当する場合が多く見受けられます。生活機能の低下を予防するためには、日ごろの生活でできるだけ体を動かし、人との交流を持つことが大切です。体調不良にならないように、規則正しい生活を送り、治療中の病気があ

れば、かかりつけのお医者さんとよく相談し、服薬を続けたり、定期的に検査を受けるなど身体の管理をしましょう。「生活機能評価」を受けることで、今まで気がつかなかった生活上の問題点を知り、毎日の生活の中で工夫して、ご自身で介護予防に取り組んでいただくことができます。

自転車から離れる場合は、短時間でも必ずカギをかけるようにしましょう。また、U字ロックやワイヤー錠など複数の鍵を併用して被害を防ぎましょう。

自転車盗

こんなに犯罪が発生しています
(京丹後警察署管内)

街頭犯罪	H20年8月末の 認知件数
恐 喝	1 件
ひったくり	1 件
車上ねらい	27 件
自動販売機ねらい	1 件
自動車盗	9 件
オートバイ盗	5 件
自転車盗	35 件
部品ねらい	12 件
器物損壊など	26 件

(京丹後警察署犯罪統計資料)

犯罪の多くは、私たちの身近なところで起こっています。「自分の安全は自分で守る」という意識をもって行動するだけで、被害に遭う危険性はずいぶん少なくなります。

市内でも自転車盗と振り込め(オレオレ)詐欺が多発していますので、特にご注意ください。

ご存じですか
十月十一日は「安心・安全なまちづくりの日」
十月十一日～二十日は「全国地域安全運動」期間です



振り込め(オレオレ)詐欺
「振り込め(オレオレ)詐欺」は、会社でのトラブル・横領などの補填金、借金返済名目や交通事故・痴漢行為などの示談金名目で、子どもや孫、弁護士や警察官などを装って現金を振り込ませようとしています。

最近、警察官や銀行協会を装う

振り込め詐欺被害に遭わないために...

- 自分のところにも、必ず振り込め詐欺の電話がかかってくるという気持ちをお持ちください。
- オレオレ詐欺は、事前に「電話番号を変えた」という連絡があります。必ず、前の番号に電話をしてご確認ください。
- 家族の間で通用する合言葉(例えばペットの名前など)を決めておき、本当に家族かどうかをご確認ください。
- 税務署、社会保険庁などの役所の職員が、携帯電話を持ってATM機へ行くよう指示することは、絶対にありません。

すぐに振り込まない・一人で振り込まない・まずだれかにご相談ください

新手の振り込め詐欺が増えていきます。

市内でも、息子を装った者から、「女性とトラブルになり、怪我をさせてしまった。示談金として百万円をサラ金から借りて支払った。すぐに返さないといけないので百万円を振り込んで欲しい」との電話がかかってくる場合があります。

このような電話がかかってくるたびに振り込まず、まずはご家族のかたにご確認ください。

平成20年度赤十字社員増強運動 結果について

平成20年度「赤十字社員増強運動」は、多くのみなさんのご協力により、目標額を大きく上まわりました。ご協力ありがとうございました。

みなさんから寄せいただきました社資は、災害救護活動をはじめ、健康安全講習の普及、医療事業や献血事業の推進、ボランティアの育成強化など、さまざまな赤十字事業に役立てられます。

ご協力ありがとうございました

京丹後市の社資目標額 5,200,000円

京丹後市の社資合計額 6,975,488円

※詳しくは、日本赤十字社京都府支部京丹後市地区(生活福祉課内☎69-0310)へお問い合わせください。

配置委員再委託 学校検討 小学校の再配置を 重点的に協議

学校再配置検討委員会では、十二月の答申に向けて、市内小・中学校の再配置について検討を行っています。八月二十六日に峰山庁舎で行われた第七回学校再配置検討委員会では、峰山町、大宮町、網野町、丹後町の小学校再配置について重点的に議論。今回は、その中の主な意見をご紹介します。



検討委員会では、学校教育のあり方についてさまざまな視点から協議が行われています

峰山町

- 分科会としては、校舎を新築して一校に統合するという結論を出しているが、教育委員会としては新築でなく、既存の建物を利用して、というものであった。この問題についてどのように考えるのか。
- 既存の校舎を使って統合するならば、一番適している場所は吉原小学校であると思うが、一校に統合するのは難しい。

- 子どもたちの教育環境を整え、地域みんなで支えながら、特色ある、地域に開かれた学校を新築で一校にまとめる方向で、平成二十三年を目標に進めてほしい。
- 既存の体育施設の修理もできない財政状況なのに、校舎を新築できるのか。現実を踏まえて教育のあり方を考えながら、再配置を検討する必要がある。
- 既存の校舎も古いのに、教育委員会として何年ごろから何年かけてどういう方向で施設整備するのかという方針がないと話が進まない。

大宮町

- お金が無いから校舎の新築は無理ということなら、意見をいただいた分科会委員さんの理解を得られない。
- 大宮は児童数がほかの地域に比べてあまり減らない見込みなので、現状のままでいい。

- 既存の施設を使って再配置するならば、大宮第二・第三小学校の再配置を考える。
- どうしても再配置をするなら通学手段の確保が重要になる。

網野町

- 大宮で昭和五十二年に小学校の合併をしたときは、現在の児童数の減少を想像できなかった。現実をしっかりと念頭に置き、今後について検討する必要がある。
- 再配置で学区が広くなると、子どもを見守る体制も京丹後市全体でしっかりつくりたいといけない。

丹後町

- 子どもの安全・安心を守るために必要なら、新しく学校を建てなければいけない。
- 竹野小学校は早急にほかの学校と合併させてほしい。
- 竹野小学校以外の小学校については現状維持で残して欲しい。
- 宇川から間人へ通うのは遠すぎる。
- 人数で見ると、平成二十五年くらいになれば間人小学校に丹後町の児童が全員入ることができるといえる。
- 若者は峰山の方に住むようになっていっているので、学校再配置は人口の減少とともに段階的に進めるときが来るのではないか。

- 住宅の問題など、都市計画の中で別の角度から学校の配置を考えることが必要になってきている。
- 間人の街中でも限界集落になってきている。
- 宇川の自然環境など、京丹後市にはこんなに素晴らしい教育環境や生活環境があるということをもっとアピールして、都会からの定住者を増やせないか。
- 学校が存続することは、過疎地域にとっては重要なことである。

弥栄町および久美浜町の小学校についての意見は、次回の検討委員会で議論を行う予定としています。また、今後、中学校、小学校の意見を総合的にまとめながら、十二月を目標に答申できるように、地域の特性を活かした新しい学校教育のあり方について、さまざまな視点から、京丹後市の将来を見据え、引き続き協議が行われます。

市では、市長をはじめ市職員が、地域へ出向き、市民のみなさんと直接、意見交換することで、まちづくりに対する市民のみなさんの理解・協働意識を深め、市民参画を推進しようと、平成 17 年度から各地で「市政懇談会」を開催しています。平成 20 年度は、各町で 1 回「市政懇談会」の開催を予定しています。

8 月 20 日～27 日の間には、網野町と丹後町で懇談会を開催しましたので、その主な内容をご紹介します。

～平成 20 年度～

市政懇談会を開催

丹後町・8月27日



網野町・8月20日

Q 鳥取豊岡宮津自動車道の整備について

鳥取豊岡宮津自動車道につきましては、網野町だけの課題ではなく、京丹後市の活性化やまちづくりに大きな影響を与えるものと思います。

特に、地域経済の低迷が顕著な京丹後市にとりまして、産業振興や企業誘致を促進するには、道路網の整備が不可欠です。ぜひ、早期に整備できますよう、国・府への働きかけを強めていただきたい。

A 工事の優先順位を上げていただくよう要望していきます

鳥取豊岡宮津自動車道は、着実な取り組みを国・府に対してお願いをしております。野田川までの間が平成二十三年度には完成します。それから、大宮まで進めていただき、これを早期に完成しながら同時に網野までの整備区間の格上げと、さらには、ゼロ区間の調査区間への昇格について、しっかりと格別の配慮の要請をしていきたいと思っております。

Q 網野町内各地の浸水（内水）対策について

網野町には、以前から浸水被害が頻繁に起こる地域があります。特に、福田川・新庄川流域におきましては、まとまった雨が降るたびに、道路の

Q 市民局のありかたについて

合併した当時は、三十数人の市民局の職員がいました。今後、おそらく減っても増えることはないだろうと思われまます。一方、区民の市に対する要望は増えてくるのが予想されます。そうした中で、五年後の丹後市民局はどうあるべきか、市民局の機能や職員の配置などについて、お聞かせください。

A 市民局を中心的な役割にしていきます

交付税は減り、税収は増えていかない状況ですので歳入は減ります。そのときに大切なことは、公共事業・福祉・補助金などの予算の減少を抑えなければなりません。そのため、人件費や物件費という市役所内部で使う予算をできるだけ抑制する必要があります。

そのような中、来年の四月に向けて、市民局を地域づくりの中心的な役割にいくため、行政の職員に加えて、地元の中で専門的な能力をもっておられるかなどと、職員と一緒にやって仕事をしていく仕組みを検討しています。

冠水、家屋の浸水が起こるなど、常態化しています。そのため、京都府により、下流域から順次改修が進められてきておりますが、まだまだ、流域の安心を確保するまでには遠いので、早期に、対策を整えていただきたい。

A 側溝・排水路工事などを着実に進めていきます

内水・浸水対策というのは、本来に安全・安心にかかわる大きなことです。ので、重要な課題として、引き続き優先的に整備を進めていきます。

そのような中で、内ヶ森都市下水路に暫定ポンプ場を設置する取り組みを昨年度から行っており、今後は、本格的な整備を進めていきます。また、市道浅茂川保育所線の側溝整備についても、本年度完了予定として



浸水対策の整備が進む
市道浅茂川保育所線

Q 上限二百円バスの運行について

しい土にかえるごみ袋のご提言をいただいているところです。

今後、提言の実現に向けてしっかりと検討していきたいと思っております。

Q ブロードバンドネットワーク事業について

四十億円の費用をかけて行われるようですが、費用対効果についてお聞かせください。

また、現在のテレビ組合の受信料は月六百元ですが、光ファイバになったら月千円程度になるようですが、高齢者のかたの受信料への配慮がないのか教えてください。

A 必要不可欠な基盤整備として着手します

費用についてはできるだけ圧縮し、実質交付税などがありますので、十億円程度の負担になっております。それから、必要性についてですが、国では全国の九〇割で光ファイバによるインターネットサービスの利用を可能にすることを目標に掲げており、京丹後市としても必要不可欠な整備として着手することとしました。

また、高齢者のかたの受信料の配慮は、NHKの受信料の制度を参考に福祉の政策の一つとして検討していきます。

Q 地域まちづくり協議会の今後について

地域振興協議会が発足し、その後地域まちづくり協議会に発展的に改組され今日に至っています。各町の地域振興協議会の各委員のかたが熱い議論を交わし、最終的に提言書を市長へ提出させていただきました。

六町の地域振興協議会の提言書について、どのように活かそうとされているのか、お聞かせください。

A 提言の実現に向けて検討していきます

各六町の地域振興協議会から具体的なご提言をいただいたところですが、市役所として真剣に受け止め、どうしたら実現できるのか真剣に検討しているところです。

丹後町のご提言につきましては、海業の体験モデル事業や環境にやさ

あなたの声を市政に 「ご意見箱」

紙面の都合によりご意見などを一部割愛させていただきます。

Q

公共交通の増便について

高校でクラブ活動をしていいますが、四月から九月までの時期は、日没が遅いため、クラブ活動が終わるのも遅くなり、最終の午後七時のバスに乗ることができません。以前は午後八時のバスがあったのでとても助かっていたのですが、現在はありません。バスの便を増やしていただませんか。

【市内・男性】

A

より便利な公共交通の実現をめざします

上限二百円バスをご利用いただきありがとうございます。

上限二百円バスの運行は、丹後海陸交通㈱の全面的な協力のもと、現車両体制の中で、効率的な運行を行っていたいております。運行本数の増加につきましては、利便性を向上させ、魅力的な公共交通となるために必要であると認識しています。ご指摘いただきました「以前は午後八時台のバスがあつて助かっていたのですが、今はありません」という件につきましては、平成十七年度に行いました高校生のみなさんへのアンケート調査の結果から、午後八時台の運行を行っていましたが、利用されるかたが少なかったことから、現在の午後七時台の運行としております。今回、ご要望をいただきましたことも重く受け止め、改めて、市内高校生のみなさんへの利用動向調査などを行っていくこととしています。



上限200円バスが弥栄病院前を巡回

Q

木津川市との友好都市について

木津川市のホームページは、友好都市としてトップページに京丹後市の紹介やリンク設定などがされていますが、京丹後市にはそれがないように思われます。本当に友好があるのですか。

【市内・男性】

A

市役所ホームページの右下に木津川市の紹介ページを設定しました

木津川市との友好都市関係については、合併前の旧丹後町と旧木津町との間で昭和五十八年に友好町とし

て盟約を結び交流を深めており、両市における市制の施行を機に交流を進めていくことを確認し、平成二十年一月十一日に友好都市として盟約を締結いたしました。加えて、二月七日には災害時相互応援に関する協定を締結し、いずれかの市で災害が発生した際には、救護物資、資機材、車両、職員の派遣などを行うこととしました。今後は、産業・文化・スポーツなどにおいて幅広い分野で交流を促進していくこととしております。ご意見にございますホームページでの友好都市の紹介につきましては、京丹後市のホームページにおいても木津川市の紹介やリンクの設定を行っております。トップページの設定ではなかったため、わかりづらかったかと思いますが、四月十四日にリニューアルしました京丹後市のホームページにおいて、トップページの右下の友好都市・広域連携の欄内に木津川市の紹介ページを設定してまいりますのでご参照ください。

【企画推進課】

Q

学校・保育所の合併について

現在、少子化に伴い学校・保育所の合併が検討されていますが、親としてはあまり遠い学校に通わせるのも心配でなりません。保育所についても同じだと思います。不便にもなりますし、送迎バスが出たとしても万が一のときの保障が心配です。バスで通学・通所するようになると子どもが歩くことも少なくなるのではないかと思います。その辺も踏まえて考えていただいているとは思いますが、一親としての意見です。

【無記名】

A

通学などの不安に配慮して検討していきます

ご意見につきまして、次のとおり回答します。

①学校の合併について

現在、本市の小学校および中学校の再配置を検討するため、検討委員会および検討分科会を設置し、京丹後市学校再配置計画の検討をはじめております。

京丹後市学校再配置検討委員会および検討分科会では、学校教育の課題として、小学校や中学校として、今後どの程度の児童生徒数の学校が

適正規模なのか、生活集団として、あるいは学力や教育効果、人間形成、情緒や徳性の涵養などの観点から、総合的に検討いただいているところです。また、今回の学校再配置計画の検討を契機に、通学のあり方についても併せて一定の整理をし、基準を設定したいと考えております。

②保育所の合併について

保育所の合併（統廃合）については、過疎化などによる少子化や保育所施設の老朽化などの課題に対して、子どもたちのよりよい保育をめざした次世代育成支援対策を推進することを方針に策定しました「保育所再編

等推進計画」において、大宮町・丹後町・弥栄町・久美浜町管内の保育所で統廃合を計画しております。

お子さんの保育所への送迎は、原則保護者のかたにお願いをしておりますが、統廃合に伴い通所が不便となる場合があることを考慮して、市としては送迎バスを運行することを前提とするとともに、バス停の場所については十分に検討することとしています。なお、送迎バスの運行には、安全を第一と考えておりますのでご理解をいただきたいと思います。

また、保育所では、徒歩で近くの公園などに出かける園外保育や、室内での遊具などを活用した運動など、体力づくりも行っています。

【教育総務課】
【子育て支援課】



適正な学校の規模などについて熱心に検討する学校再配置検討委員のみなさん

「ご意見箱」投稿に際してのおねがい

ご意見箱へお寄せいただくご意見には、お名前などの個人が特定できる部分やプライバシーに関わる部分を除き、すべてお答えすることとし、お名前や連絡先をご記入いただいているかたにつきましては、直接お答えもさせていただきます。

一方、お名前や住所などの連絡先の記入のないものにつきましては、市のホームページおよび広報紙でお答えすることとなります。

ホームページには、個人情報に関するものを除き、随時掲載していますが、広報紙は月に1回の発行であり、どうしてもお答えを掲載するのに時間がかかってしまいます。また、広報紙では紙面が限られているためご意見やお答えを一部割愛して掲載することとなります。

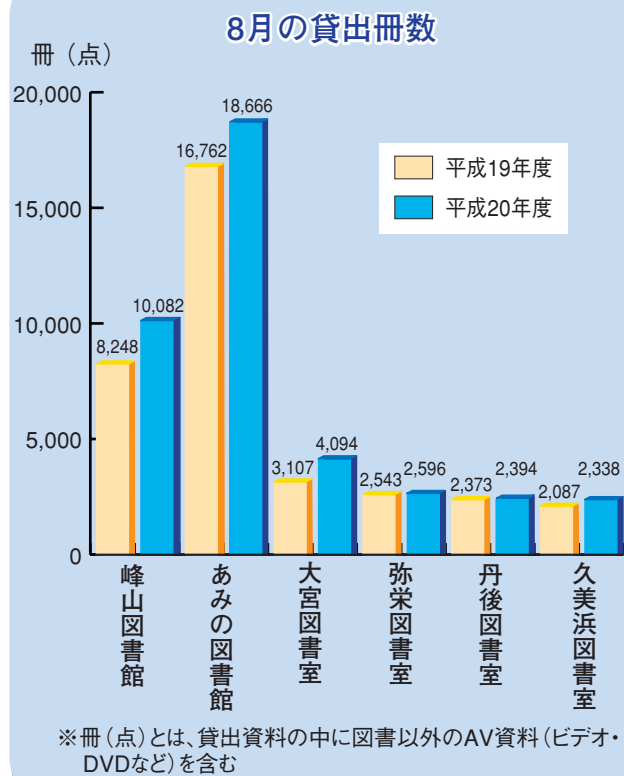
これまで、お名前や連絡先などが記されていたご意見では、ご意見の内容を確認させていただき、できる限り正確でいねいな回答をお返すように努めています。お名前や連絡先などが記されていないご意見につきましては、再質問的に何度もいただいているご意見もあります。正確な回答をできるだけ速やかにお返すために、住所をはじめ、お名前・連絡先などをぜひご記入ください。

市立図書館 ご案内

8月の市立図書館利用状況

図書システム統合後の市立図書館は、『1枚の利用者カードで、どこで借りても返してもよい』状態となり、利用者のかたから便利になったと喜んでいただいています。夏休み8月の図書館は、例年に比べて利用が多く、個人・団体を含めて、1か月の貸出合計が4万冊（点）となり、昨年度8月の3万5千冊（点）を超える最高記録となりました。今後も、市民のみなさんが利用しやすい、役に立つ図書館をめざしていきたいと考えています。ご意見・ご要望がありましたら各図書館（室）へお寄せください。

図書館（室）名	8月の貸出冊（点）数	
	平成 19 年度	平成 20 年度
峰山図書館	8,248	10,082
あみの図書館	16,762	18,666
大宮図書室	3,107	4,094
弥栄図書室	2,543	2,596
丹後図書室	2,373	2,394
久美浜図書室	2,087	2,338
合 計	35,120	40,170



「夏のおはなし会」を開催（丹後図書室）

丹後図書室では、8月9日、丹後地域公民館で「夏のおはなし会」を開催しました。参加者は親子45人で、大型絵本・パネルシアター・手あそび・なぞなぞなどを楽しみました。その後のおりがみ教室では、「こんちゅう」をテーマに、かぶとむし・せみなどを折り、作品を画用紙に貼りました。それぞれ個性的な作品ができあがり、楽しいひとときを過ごしました。



丹後図書室の「夏のおはなし会」

「丹後の民話」を楽しむ

丹後は民話の宝庫であり、古い歴史のあるすばらしい「国」です。私たちが住むこの地のよさを再認識するため、市立図書館では読み聞かせボランティアのみなさんのご協力を得て、丹後の民話をいろいろな機会を捉えてお話ししています。

8月21日は、網野町高齢者大学8月講座で公演しました。『丹後町絵本読みかせボランティアグループ』のみなさんによる『小脇の子安地蔵さん』と、『あみの読み聞かせボランティアの会』による『吉津の穴地蔵』、京丹後市出身の絵本作家梅田俊作さんの絵本『はなびのよる』の画像をそれぞれプロジェクターで大きく映し出し、読み聞かせしました。

1 30人を超える参加者のかたは、おはなしに聞き入り、その後の、著者のご厚意による絵本の抽選会などで楽しいひとときを過ごしました。



網野町高齢者大学8月講座

10月の休館日

14日(火)・20日(月)・27日(月)

11月の休館日

4日(火)・5日(水)

※休館日は、本紙発行日の10月10日以降、次号発行日の11月10日までを掲載しています。

京丹後市の文化財 四一

丹後町上山

上山寺石造宝篋印塔

今回は、丹後町上山に所在する上山寺の石造宝篋印塔についてご紹介します。

宝篋印塔は、中国で「宝篋印陀羅尼經（ほうきょういんだらにきよう）」というお経を納める塔としてつくられたものもともととなっています。日本では、平安時代の終わりごろからつくられはじめます。宇川地区には、多くの立派な宝篋印塔が残されています。その中で上山寺の宝篋印塔は、銘文が刻まれていることから、建てられた年代がよくわかる資料として貴重なものです。上山寺は、隠岐国の佐々木隠岐守弘成（明法上人）が天応元年（七八一年）に開いたとされる古いお寺です。現在の本堂は、残された棟

札から、元禄十一年（一六九八年）に宮津の富田盛庸（とみたもりつね）が大工として建立したことがわかっています。富田氏は、宮津で有数の大工であり、その後も代々活躍しています。富田盛庸は、元禄七年（一六九四年）に大宮神社（弥栄町野中）、翌十二年には六神社（丹後町上野）を建立しています。当時の上山寺は、律伝（りつでん）というお坊さんが住職であり、棟札には「当寺中興」と記されています。有名な富田氏が大工となっていることから、当時の宮津藩の後押しがあったものと推定されます。この本堂の前には、二基の宝篋印塔が残されています。一基は、高さ二〇二センチメートル

ルです。一番下段の基礎には、「永徳元一〇八月廿日」、「大願主一結衆十三人」（一三八一年）の銘が刻まれています。室町時代前期のものであり、上山寺では本尊に次ぐ古い資料です。

もう一基は、高さ一六〇センチメートルです。一番下段の基礎には、「永禄九年八月日敬白」（一五六六年）という銘文が、また基礎の上にある塔身には「□□（逆修カ）寺尾坊舜□（盛カ）」「当寺中興□□」という銘文が刻まれています。永徳元年銘のものから約百八十年後の戦国時代の資料です。永禄九年銘のものは、「寺尾坊舜盛」が「当寺中興」として見え、逆修供養（生前にあらかじめ死後の冥福を祈って仏事を行うこと）のために建てられたことがわかります。この人物は、五輪塔の願主（がんしゅ）としてもその名がみえます。五輪塔を建てた翌年にこの宝篋印塔が建てられていることから、寺尾坊舜盛は当時の上山寺における有力者であるととともに、この人物を



上山寺宝篋印塔
（永禄九年銘）



上山寺宝篋印塔
（永徳元年銘）

中心に上山寺に何らかの変革があったことをうかがわせる資料といえます。二基の宝篋印塔のうち永徳元年のものは、平成十六年十月に直撃した台風二十三号により上山寺境内で発生した地滑りのため、塔全体が崩落した土砂と一緒に流されました。その後、永禄九年銘のものは、二次災害の恐れがあることから、永徳元年銘のものとともに解体した状態で保管されていました。しかし今年の六月二十六日には、地元の上

山地区のかたを中心に宝篋印塔の組み立てが行われ、四年ぶりにその姿を見学できるようになりました。上山寺の宝篋印塔は、中世の銘文が残る資料である点が評価され、昭和六十一年五月十九日付で丹後町指定文化財（工芸品）に指定され、京丹後市発足にあわせて京丹後市指定文化財となっています。※印のある「□」は、読みとりが困難な文字を表しています。

ほうらい 蓬莱の郷・京丹後

京都府内最高齢の111歳 木村次郎右衛門さん（丹後町中野）



健康の秘訣を笑顔で話される
木村次郎右衛門さん

京都府内最高齢の木村次郎右衛門さん（百十一歳・丹後町中野）のご長寿を祝い、中山市長と本田京都府丹後広域振興局長が九月二十二日、木村さん宅を訪問し、お祝いの品を手渡ししました。

好き嫌いがなく何でも食べるといふ木村さんは「食細くして命ながかれ」と健康の秘訣を披露。また、足の運動なども続けておられるとのこと。

木村さんは、「元気でいられるのもみなさんのおかげ。これからはますます元気で長生きします」と元気な笑顔で話されました。



第1回

～つどい、学び、交流の輪を広げる～ 健康大長寿のさとづくり 全国交流会

京丹後市で開催

開催日

11月22日(土)
23日(日)

京丹後市には、数え年100歳以上のかた64人（9月1日現在）が元気に暮らしておられます。また、100歳以上のかたが占める人口比率は、平成19年では京都府で最も高く、「健康大長寿のまち」の特色を色濃く持っています。

このような中、生きがいをもちながら安心して暮らすことのできる、また長寿自体を心から喜べる“健康長寿のさとづくり”を推進するため、全国の健康長寿を推進される自治体などと連携し「第1回健康大長寿のさとづくり全国交流会」を開催します。

交流会では、基調講演をはじめ、実践報告やパネル討論などを行います。ぜひ、ご参加ください。

日時 11月22日(土) 13:00～17:30
・23日(日) 9:30～12:00

場所 京都府丹後文化会館（峰山町杉谷）

対象者 全国各地の自治体関係者、医学、保健などの関係者のかた、京丹後市民のみなさんほか

内容

～11月22日～

○講演 講師 名古屋学芸大学 井形昭弘学長
演題 夢の長寿社会

○報告 テーマ 「百歳バンザイ」健康長寿のまちづくりの取り組みについて
（長野県佐久市、沖縄県などの数自治体を予定）

○パネル討論 テーマ 健康長寿社会の実現に向けて、いま求められていること

パネラー 総合人間研究所 早川一光所長
京都府立医科大学 吉川敏一教授
（そのほか出演者を調整中）

進行 弥栄病院 安原正博院長

○交流会 参加自治体関係者などの情報交換、交流
～11月23日～ 施設などの見学

後援 厚生労働省、京都府

お問い合わせ先 高齢者福祉課（☎69-0330）

人口・世帯数

男 30,307人（－9）
女 32,367人（－24）
計 62,683人（－33）
世帯数 22,061世帯（－4）
（9月1日現在・（ ）内は前月比）

発行／京丹後市役所 編集／秘書広報広聴課

〒627-8567 京都府京丹後市峰山町杉谷889

☎0772-69-0110 FAX.0772-69-0901

ホームページ <http://www.city.kyotango.kyoto.jp>

E-mail hishokoho@city.kyotango.kyoto.jp